

平成 24 年 10 月 26 日

平成 2 4 年度
青森市教育委員会事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書
- 平成 2 3 年度の実績 -

青森市教育委員会

青市教報告第1号

平成24年10月26日

青森市議会議長 花田明仁様

青森市教育委員会

平成24年度青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び
評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定により、
平成24年度青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報
告書を次のとおり提出する。

目 次 -

1 . 平成 2 3 年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	1
(2) 教育委員会会議審議案件	1
(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況	5
2 . 教育委員会事務の点検・評価	
(1) 趣旨	7
(2) 点検・評価の対象	7
(3) 学識経験者	8
(4) 点検・評価方法	8
3 . 点検・評価結果 (目標指標)	
政策第 1 節 学校教育の充実	9
政策第 2 節 社会教育・生涯学習の推進	16
政策第 3 節 文化・芸術の推進	18
政策第 4 節 スポーツ・レクリエーションの推進	22
4 . 平成 2 3 年度事務の管理及び執行の点検及び評価における委員からの指摘事項等に対する 改善状況	
政策第 1 節 学校教育の充実	28
政策第 2 節 社会教育・生涯学習の推進	35
政策第 3 節 文化・芸術の推進	42
政策第 4 節 スポーツ・レクリエーションの推進	48
5 . 学識経験者の意見 (総評)	51
6 . まとめ	52

1. 平成23年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員

職名	氏名	任期	就任年月日
委員長	柳谷章二	H20. 5. 20 ~ H24. 5. 19	H17. 9. 22
委員長	佐藤秀樹	H24. 5. 20 ~ H28. 5. 19	H24. 5. 20
委員長 職務代行者	鎌田慎也	H21. 5. 20 ~ H25. 5. 19	H17. 4. 1
委員	西村恵美子	H22. 5. 20 ~ H26. 5. 19	H18. 5. 20
委員	平出道雄	H23. 5. 20 ~ H27. 5. 19	H19. 5. 20
委員	土田美紀	H20. 4. 1 ~ H24. 3. 31	H20. 4. 1
委員	石澤千鶴子	H24. 4. 1 ~ H28. 3. 31	H24. 4. 1
教育長	月永良彦	H21. 6. 1 ~ H25. 5. 19	H21. 6. 1

網掛けの委員長及び委員は、平成24年度に更新となった委員である。

(2) 教育委員会会議審議案件

会議	議案及び報告事項
定例会 平成23年4月25日 教育研修センター 4階 第2研修室	<p>【議案】</p> <p>議案第19号 臨時に代理し処理した事項の承認について</p> <p>議案第20号 青森市文化会館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について</p> <p>議案第21号 教育長の財団法人青森市文化スポーツ振興公社理事の兼職の承認について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生に伴う教育委員会における被害状況と対応について</p> <p>(2) 小・中学校の耐震補強工事等の進捗状況について</p> <p>(3) 青森市小学校給食センター等整備運営事業に関するスケジュールの変更について</p> <p>(4) 中央部学校給食共同調理場における異物混入について</p>
定例会 平成23年5月19日 教育研修センター 4階 第2研修室	<p>【議案】</p> <p>議案第22号 平成23年度一般会計補正予算について</p> <p>議案第23号 公の施設における慈善活動の環境整備を図るための関係条例の整備に関する条例の制定について</p> <p>議案第24号 「青森市子ども読書活動推進計画 第二次計画」の策定について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 自然体験交流施設(旧県青年の家)開設に向けた方針(素案)に係るわたしの意見提案制度(パブリックコメント)の実施結果について</p> <p>(2) 青森市立橋本小学校及び長島小学校校舎耐震補強工事について</p> <p>(3) 東日本大震災に伴う被災者への支援について</p> <p>(4) 青森市小学校給食センター等整備運営事業に係る特定事業の選定について</p> <p>(5) 浜館小学校における給食への異物混入について</p>
定例会 平成23年6月29日 教育研修センター 4階 第2研修室	<p>【議案】</p> <p>議案第25号 青森市立小学校及び中学校の就学に関する規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第26号 公の施設における慈善活動の環境整備を図るための関係条例の整備に関する条例の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の制定について</p>

会 議	議案及び報告事項
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 23 年第 2 回市議会定例会の質問概要について (2) 夏期の電力需給対策について (3) 財団法人青森市文化スポーツ振興公社における保管金の紛失について (4) 市民センター管理運営業務における不適切な支出について (5) 寄附採納について (6) 平成 23 年度全国学力・学習状況調査について (7) 平成 24 年度使用中学校教科用図書採択について (8) 市内中学校における器物損壊等事件について
<p>定例会 平成 23 年 7 月 28 日 教育研修センター 5 階 大研修室</p>	<p>【議案】 議案第 27 号 平成 24 年度使用中学校用教科用図書の採択について</p> <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 23 年度全国高等学校総合体育大会の開催について (2) 市内中学生が逮捕された事件について (3) 市内小学校における盗難事件について (4) 市民センター管理運営業務における不適切な支出について (5) 自然体験交流施設（旧県青年の家）に係るあおもり市民 100 人委員会の意見について
<p>定例会 平成 23 年 8 月 11 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室</p>	<p>【議案】 議案第 28 号 青森市立久栗坂小学校の移転について 議案第 29 号 青森市立小学校条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 30 号 平成 23 年度一般会計補正予算について</p> <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 財団法人青森市文化スポーツ振興公社の経営状況及び経営評価結果並びに経営改善計画の概要について (2) 青森市 P T A 連合会ねぶたの「青森ねぶたお祭り広場」への参加について (3) 学校給食における牛肉の使用について (4) 平成 22 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について
<p>定例会 平成 23 年 9 月 30 日 教育研修センター 5 階 大研修室</p>	<p>【議案】 議案第 31 号 通学区域再編について 議案第 32 号 青森市民図書館協議会委員の任命について 議案第 33 号 教育委員会事務局の人事異動について</p> <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 23 年第 3 回青森市議会定例会の質問概要について (2) 青森市教育委員会災害対応マニュアルの改訂について (3) 平成 23 年度全国高等学校総合体育大会について (4) 財団法人青森市文化スポーツ振興公社における懲戒処分について (5) 青森市民室内プール天井部材落下に伴う休館について (6) コバケンとその仲間たちオーケストラ 2011 in あおもりの開催について (7) 市民センター管理運営業務における不適切な支出について (8) 青森市民図書館電算システム機器の更新について (9) 市内中学校における器物損壊等事件について (10) 青森市小学校給食センター等整備運営事業のスケジュールについて (11) 新城中学校における問題行動の概要と今後の対応について (12) 平成 24 年度中学校武道必修化に係る学校支援について (13) 平成 24 年度以降の全国学力・学習状況調査について

会 議	議案及び報告事項
定例会 平成 23 年 10 月 25 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議案】 議案第 34 号 臨時に代理し処理した事項の承認について 【報告】 (1) 青森市民室内プール天井部材落下にかかる今後の対応について (2) ネーミングライツ・スポンサーの募集について (3) 版画の街・あおもり開催事業におけるワークショップの開催について (4) 各市民センターの調査結果について (5) 学校給食における牛肉の使用再開について (6) 市内中学校における火災について
定例会 平成 23 年 11 月 17 日 教育研修センター 5 階 大研修室	【議案】 議案第 35 号 青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書 について 議案第 36 号 通学区域再編について 議案第 37 号 平成 23 年度一般会計補正予算について 議案第 38 号 青森市立小学校条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 39 号 スポーツ基本法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 について 議案第 40 号 公の施設の指定管理者の指定について 議案第 41 号 専決処分について 【報告】 (1) 東中学校、筒井中学校及び横内小学校改築事業について (2) 平成 23 年度青森市成人式について
定例会 平成 23 年 12 月 27 日 教育研修センター 5 階 大研修室	【議案】 議案第 42 号 青森市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する 規則の制定について 議案第 43 号 青森市立小学校及び中学校の就学に関する規則の一部を改正する規則 の制定について 議案第 44 号 青森市立小学校及び中学校の職員の服務等に関する規程の一部を改正 する規程の制定について 【報告】 (1) 平成 23 年第 4 回市議会定例会の質問概要について (2) ネーミングライツ・スポンサーの優先交渉者の選定について (3) 青森市民室内プールの改修工事にかかる進捗状況について (4) コバケンとその仲間たちオーケストラ 2011 in あおもりについて (5) 学校給食費の未収債権にかかる専決処分について (6) 青森市小学校給食センター等整備運営事業について (7) 青森市中学校生徒海外派遣事業について
定例会 平成 24 年 1 月 27 日 教育研修センター 5 階 大研修室	【議案】 議案第 1 号 情緒障害児短期治療施設入所児童生徒の学校教育環境の整備について 【報告】 (1) 市内中学生が逮捕された事件について (2) 土佐犬が逃げ出したことに関する対応について (3) 平成 23 年度青森市成人式について (4) 平成 23 年度青森市文化賞・スポーツ賞の表彰について (5) 第 24 回棟方志功賞版画展について (6) 青森市民室内プール臨時休館に伴う代替施設における水泳教室の開催について (7) 北海道新幹線建設に係る油川市民センター用地の一部譲渡について (8) 平成 23 年度青森県学校給食献立コンクール入賞について (9) 平成 23 年度学習状況調査(県教委実施)の結果概要について (10) 青森市中学校生徒海外派遣事業の実施状況について

会 議	議案及び報告事項
定例会 平成 24 年 2 月 16 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議案】 議案第 2 号 青森市民図書館条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 3 号 青森市外国語指導員等の給料及び旅費に関する条例を廃止する条例の制定について 議案第 4 号 青森市学校施設整備基金条例の制定について 議案第 5 号 平成 23 年度一般会計補正予算について 議案第 6 号 平成 24 年度一般会計当初予算について 議案第 7 号 特定事業に係る契約の締結について 議案第 8 号 県費負担教職員の任免の内申について 【報告】 (1) 寄附採納について (2) ネーミングライツ事業における青森市文化会館の愛称について (3) 第 7 回全国高等学校カーリング選手権大会の開催について (4) 学校給食費の支払督促の結果について (5) 学校防災計画と防災教育等の充実のための資料作成について (6) 小牧野遺跡世界遺産登録に向けた対応について
臨時会 平成 24 年 2 月 24 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議会】 議案第 9 号 平成 24 年度教育委員会事務局の人事異動について 【報告】 なし
定例会 平成 24 年 3 月 28 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議案】 議案第 10 号 青森市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 11 号 青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 12 号 青森市外国語指導助手の就業に関する規則を廃止する規則の制定について 議案第 13 号 青森市教育委員会事務の専決等に関する規程の一部を改正する規程の制定について 議案第 14 号 青森市学校林管理経営規程の一部を改正する規程の制定について 議案第 15 号 青森市スポーツ推進審議会委員の任命について 議案第 16 号 教育長の財団法人棟方志功記念館理事の兼職の承認について 【報告】 (1) 平成 24 年第 1 回市議会定例会の質問概要等について (2) 寄附採納について (3) 学校版環境マネジメントシステムについて (4) 文化財資料等収蔵庫の完成について (5) 平成 24 年度の学級編制基準の変更について (6) 武道必修化への対応について (7) インフルエンザの発生状況について

(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況

月	活動内容
平成23年4月	4月8日 青森市小中学校校長会 4月11日 東青管内小中学校校長会議 4月12日 青森市小中学校校長会議 4月13日 東青管内小中学校教頭会議 4月13日 市町村教育長会議 4月14日 全国市町村教、育委員会連合会 常任理事・理事会 4月18日 青森県都市教育長協議会 4月19日 青森県都市教育長協議会 4月28日 青森市教育委員会連絡協議会教育長会 代表者会議 4月28日 青森市教育委員会連絡協議会 理事会
5月	5月9日 あおもり ICT クラウドフェスタ実行委員会 5月10日 青森県初任者研修実施協議会 5月13日 青森県教科用図書選定審議会 5月13日 青森県小学校長会 総会・研修会 5月15日 青森市 PTA 連合会 総会 5月17日 青森県小中学校教頭会 定期総会・研修会 5月17日 青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会 定期総会 5月18日 東青地区教科用図書採択協議会 5月21日 県内4大会 ソフトボール大会開会式 5月23日 青森市子どもを犯罪から守る学校支援協議会 5月24日 青森県市町村教育委員会連絡協議会 定時総会
6月	6月3日 青森地区万引等非行防止協力会 総会 6月11日 青森市中学校体育大会 夏季大会 6月24日 青森市小学校体育デー 開会式 6月24日 財団法人青森学術文化振興財団 理事会 6月29日 第30回青森市長杯争奪ナイターサッカー選手権大会 開会式
7月	7月1日 全国市町村教育委員会連合会 理事会 7月6日 市長と教育委員長の懇談 7月7日 東北六県市町村教育委員会連合会 総会 7月8日 東北六県市町村教育委員会連合会 研修会 7月11日 青森県教育委員会への要望書提出(県市町村連絡協議会から) 7月11日 暴力追放青森市民会議 7月14日 旧県青年の家に関する打合せ 7月15日 学校訪問等(浅虫小学校・浅虫中学校) 7月17日 青森市内学童水泳競技大会 7月20日 東青地区教科用図書採択協議会 7月21日 青森市中学校体育大会 結団式 7月25日 NIE 全国大会 青森大会 7月27日 青年の家に関する教育委員との懇談 7月28日 全国高等学校総合体育大会 開会式 7月31日 青森ねぶた出発式
8月	8月1日 青森市児童親善野球大会 開会式 8月10日 青森県私立幼稚園教員研修大会 8月20日 市町村対抗県民体育大会 開会式 8月20日 子ども委員会意見発表会 8月26日 東北総合体育大会・国体東北ブロック卓球競技 開始式
9月	9月10日 浪岡南小学校創立30周年記念式典 9月24日 「日本の祭り in あおもり 2011」開会記念式典 9月29日 青森県小学校社会科教育研究大会 青森大会開会行事 9月29日 青森市少年指導委員 研修会・情報交換会 9月30日 浪岡北小学校創立30周年記念式典
10月	10月1日 縄文シティサミット 10月2日 縄文シティサミット 10月6日 青森市小学校連合音楽会 10月7日 青森県私立幼稚園 PTA のつどい 10月15日 東中学校創立40周年記念式典 10月16日 あおもりツデーマーチ 出発式 10月16日 MOA美術館作品展 表彰式 10月20日 青森市文化スポーツ振興公社 理事会 10月21日 青森市中学校文化連盟 音楽発表会 10月26日 青森県都市教育長協議会 10月27日 市町村教育委員会 研究協議会(第1ブロック) 10月28日 市町村教育委員会 研究協議会(第1ブロック) 10月30日 原別小学校創立60周年記念式典

11月	11月 6日 第6回青森市PTA研究大会 11月 8日 小中連携教育課程研究開発公開發表会 11月 9日 青森市中学校文化連盟演劇発表会 11月 9日 青森県市町村教育委員長・教育長合同会議 11月11日 青森県中学校総合文化祭開会集会 11月14日 青森市子どもを犯罪から守る学校支援協議会 11月15日 事務点検及び評価に関する打合せ 11月15日 青森市PTA連合会との意見交換会 11月22日 合浦小学校創立60周年記念式典 11月22日 浅虫中学校創立60周年記念式典 11月25日 第49回青森市学校保健研究大会 11月27日 青森市子ども会育成連絡協議会 創立50周年記念式典
12月	12月 2日 青森市中学校長会と教育委員の教育懇談会 12月 4日 青森市文化団体協議会 発足45周年記念式典 12月20日 財団法人学術文化振興財団 論文授賞式 12月23日 第6回中学生美術展
平成24年1月	1月11日 中核市教育長会 1月23日 小中連携研究指定校等連絡協議会 1月25日 青森市文化スポーツ振興公社 理事会 1月26日 財団法人学術文化振興財団 理事会
2月	2月 2日 青森市中学校長会定例会 2月 4日 第24回棟方志功賞版画展 表彰式 2月 9日 青森市小学校教頭会 2月16日 全国高等学校総合体育大会青森県実行委員会 総会 2月18日 栄山小学校閉校記念式典
3月	なし

2. 教育委員会事務の点検・評価

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)が改正され、平成20年4月から施行された。

改正地教行法では「教育委員会の責任体制の明確化」が規定されており、教育委員会が、毎年学識経験者の知見を活用しながら、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないと規定されている。

本報告書は、地教行法第27条第1項の規定に基づき、平成23年度の教育委員会の活動を振り返るとともに、教育委員会の主要施策について、教育委員会自らが点検・評価を行い、学識経験者の意見を付して作成し、報告するものである。

(2) 点検・評価の対象

青森市新総合計画前期基本計画に掲げた基本政策第4章「歴史と文化を受け継ぎ 未来を創造する人を育むまち」に掲げられた施策ごとの指標(目標項目)に貢献する主な事務事業を抽出し、今回の点検・評価の対象事業としました。

第4章「歴史と文化を受け継ぎ 未来を創造する人を育むまち」

政 策	施 策	対 象 事務事業数	
第1節 学校教育の充実	1 教育活動の推進 【目標指標】学習状況調査の県平均正答率との差(小学5年生) 【目標指標】学習状況調査の県平均正答率との差(中学2年生) 【目標指標】学校支援ボランティア数	11	
	2 教育環境の充実 【目標指標】少人数学級制を実施している学年の割合	0	
	3 就学指導・支援の充実 【目標指標】教育相談への相談件数 【目標指標】不登校から復帰した児童の割合 【目標指標】不登校から復帰した生徒の割合	3	
	第2節 社会教育・生涯学習の推進	1 社会教育活動・生涯学習活動の推進 【目標指標】市民センター及び公民館で開催する教育活動の参加者数	10
		2 青少年の健全育成 【目標指標】JUMP チームに所属する児童生徒数	0
	第3節 文化・芸術の推進	1 文化・芸術活動の推進 【目標指標】文化施設利用者数	4
2 郷土の文化資産の活用・継承 【目標指標】文化資産を活用した事業の参加者数		3	
3 文化財の保存・発信 【目標指標】文化財を活用した事業の参加者数		6	

第4節 スポーツ・レクリエーションの推進	1 スポーツ・レクリエーション活動の推進	8
	【目標指標】スポーツ施設利用者数	
	2 ウィンタースポーツの推進	3
	【目標指標】ウィンタースポーツ事業の参加者数 【目標指標】ウィンタースポーツ施設利用者数	
	3 競技力の向上	8
【目標指標】体育指導員活動回数		
【目標指標】スポーツ賞及びスポーツ奨励賞受賞件数		
		56

(3) 学識経験者

内海 隆

青森公立大学経営経済学部教授

・八戸大学学長補佐、八戸短期大学副学長などを歴任

横山 勉

青森県小学校長会事務局長

・青森市立筒井南小学校長、青森県小学校長会会長などを歴任

(4) 点検・評価方法

点検・評価に当たっては、「青森市新総合計画 - 元気都市あおもり 市民ビジョン - 」前期基本計画に目標指標として掲げた平成27年度の目標値に対する平成23年度の達成状況を参考にしながら、施策・事務事業の課題、問題点を明らかにするとともに、課題解決に向けた今後の方向性について検討しました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定に基き、教育に関し学識経験を有する外部評価員から様々な御意見、御助言をいただきました。

実施方法としては、市全体で実施した施策優先度評価表及び事務点検表を活用することとしました。

平成23年度（平成22年度の事務事業を対象）の点検・評価での指摘事項に対する改善状況等についても、点検・評価し、継続的な改善を図るという趣旨から、改めて今後の方向性を示しました。

「平成24年度 事務の点検及び評価表」凡例

指 標 名	方向	基準値	目標値 (H27)	実 績 値					現時点での達成率
				H23	H24	H25	H26	H27	

方向： 「+」増加に向けて取り組む指標

「-」減少に向けて取り組む指標

基準値： 基準とする年度の値

目標値： 平成27年度の目標値

現時点での達成率： 平成27年度の目標値に対する平成23年度実績値の達成率

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					

事業区分： 「新規」平成24年度から、新たに実施する事務事業

「継続」平成23年度と比較し、事業の制度、内容の変更がない事務事業

「拡充」平成23年度と比較し、事業の制度、内容が拡充された事務事業

「縮小」平成23年度と比較し、事業の制度、内容が縮小された事務事業

「終了」平成23年度で終了（廃止・休止含む）する事務事業

3. 点検・評価結果

平成24年度 事務の点検及び評価表

【政策第1節 学校教育の充実（1 教育活動の推進）】

【目標指標】学習状況調査の県平均正答率との差（小学5年生）

＜平成27年度目標指標設定の考え方＞

県平均、類似都市（弘前市、八戸市）との比較した数値を考慮し、小学校においては、県平均を下回る年度が多いことから、県平均との差を縮め、安定して県平均を上回るような状態にするため、平成27年度は、ピークだった平成21年度の1.1%を目標としています。

指標名	方向	基準値			目標値	実績値					現時点での達成率
		H22	H23	H24	(H27)	H23	H24	H25	H26	H27	
学習状況調査の県平均正答率との差（小学5年生）	+	H22	-1.8	pt	1.1	0.0	**	**	**	**	62.1%

（1）目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業区分
5080007	実践指導事例集作成事業	指導課	0	0	0	継続
5080008	学校教育指導方針推進事業	指導課	0	0	0	継続
5080009	学校訪問教育指導事業	指導課	210	200	196	継続
5080028	心豊かな子ども読書活動推進事業	指導課	137	137	222	拡充
5080029	小・中連携教育課程研究開発事業	指導課	630	450	576	継続
5080032	教育研究所連盟事業（負担金）	指導課	21	21	21	継続
5080034	全国教育研究所連盟研究協議会参加事業	指導課	136	113	172	継続
5080035	教育展望セミナー参加事業	指導課	72	74	74	継続
5080044	市町村指導主事研修事業	指導課	45	40	60	継続
5080047	教職員研修事業	指導課	4,219	3,973	4,034	継続

（2）目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H22)	H23	H24	H25	H26	H27
国語 (指導課)	-1.20 pt	0.10 pt	pt	pt	pt	pt
<p>学校訪問や研修講座を通して、授業における言語活動の充実について、その取り組み方の指導等により、通過率は上昇したものと考えられます。例えば、メモの取り方については、教師がメモの取る姿を実際に見せたり、自分の考えを短時間（時数制限）で書きまとめる訓練を継続させたり、読む活動時に観点を与えたりすることが、それにあたります。今後は、国語科で身につけた力を他教科等でも活用させたり、国語科の基盤となる言語事項を取り立てて指導したりすることを、さらに求めています。</p>						
社会 (指導課)	-1.70 pt	-0.50 pt	pt	pt	pt	pt
<p>社会科における正答率低下の要因として、棒グラフや円グラフなどの資料を的確に読み取ることができないこと、教師の説明中心の授業により、子どもの学習が受け身的になり、学習意欲の低下による基本的な知識や技能が定着していないことが考えられます。</p> <p>そのため、学校訪問や研修講座を通じて、統計資料の的確な読み取らせ方の指導の充実と、子ども自身が問題意識をもちながら社会のしくみや出来事を意欲的に調べていく授業の構築を図るよう助言してきたところです。</p> <p>各学校では、助言に基づき、資料の読み取り方の丁寧な指導、作業及び体験活動などを積極的に取り入れ、実感的な理解を図る指導、さらには、学習したことを繰り返し復習すること等に力を入れており、その結果、正答率の上昇につながっています。</p>						
算数 (指導課)	-3.10 pt	0.70 pt	pt	pt	pt	pt
<p>正答率低下の一つの要因として、計算力等の定着を図る練習機会が少ないことが上げられます。学校訪問や研修講座を通して、計算力等の習熟や維持を図るため、学校全体で適度な繰り返し学習に取り組む必要性について指導、助言を行ってきました。各学校においては、朝学習の時間等を利用し、児童の学習状況を把握しながら、忘れないための繰り返し学習に重点を置く学校が増え、正答率上昇につながっています。</p>						
理科 (指導課)	-1.50 pt	-0.30 pt	pt	pt	pt	pt
<p>科学的な用語や名称などの知識はもっているものの、その役割や根拠を基にした深い理解につなげていく授業実践が必要です。単なる記憶による学習ではなく、実際に得た知識・技能を「活用」できる学習を進めていきます。また、授業により得られた知識・技能を「実生活の中でどう生かすか、どう生かされているか」という「活用」の視点も理科の有用性を実感させるために重要です。</p> <p>「活用型」授業を展開していくためには、知識面の「習得」場面において、系統性のある理解になっていることを重視します。また、技能面の「習得」についても、実際に実験を自ら行えるようにするとともに、課題別学習のような場合においても、自らが実験計画を立て、自らが準備し実験を行えるような「活用」ができる「習得」にしていきます。</p>						

（3）教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校訪問や教職員に対する研修講座を通じた指導・助言により、県学力状況調査の正答率が順調に伸びています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力の一層の向上を図っていくためには、県学力状況調査結果を活用し、地域、学校、教室レベルまで分析するとともに、その結果を教育活動全体に役立てていく必要があります。 各学校が自校の更なる学力向上のために、具体的目標を定め、その達成に向けた行動計画（学力アクションプラン）の作成を支援していきます。
--

【目標指標】学習状況調査の県平均正答率との差（中学2年生）

<平成27年度目標指標設定の考え方>

県平均、類似都市（弘前市、八戸市）との比較した数値を考慮し、小学校においては、県平均を下回る年度が多いことから、県平均との差を縮め、県平均と同等の数値に達した上で、安定して県平均を上回るような状態にするため、平成27年度は、ピークだった平成20年度の4.3%を目標値としています。

指標名	方向	基準値			目標値	実績値					現時点での達成率
		H22	H23	H24	(H27)	H23	H24	H25	H26	H27	
学習状況調査の県平均正答率との差（中学2年生）	+	H22	3.6	pt	4.3	4.0	**	**	**	**	93.0%

（1）目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5080007	実践指導事例集作成事業	指導課	0	0	0	継続
5080008	学校教育指導方針推進事業	指導課	0	0	0	継続
5080009	学校訪問教育指導事業	指導課	210	200	196	継続
5080028	心豊かな子ども読書活動推進事業	指導課	137	137	222	拡充
5080029	小・中連携教育課程研究開発事業	指導課	630	450	576	継続
5080032	教育研究所連盟事業（負担金）	指導課	21	21	21	継続
5080034	全国教育研究所連盟研究協議会参加事業	指導課	136	113	172	継続
5080035	教育展望セミナー参加事業	指導課	72	74	74	継続
5080044	市町村指導主事研修事業	指導課	45	40	60	継続
5080047	教職員研修事業	指導課	4,219	3,973	4,034	継続
5080049	外国青年（語学指導員）招致事業	指導課	35,017	52,425	74,532	拡充

（2）目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H22)	H23	H24	H25	H26	H27
国語 (指導課)	1.70 pt	1.80 pt	pt	pt	pt	pt
学校訪問や研修講座を通し、「話すこと・聞くこと」領域について、指導事項を明らかにした上で具体的な場面を設定し言語活動に取り組みさせることを伝えることで、通過率は上昇しています。今後は、通過率が低い傾向にある「書くこと」の領域について、指導事項を明らかにし自分の考えを短時間で書きまとめる訓練を継続したり、説明的な文章教材や文学的な教材と関連させ幾つかの条件設定の中で短作文を「書く」ことを繰り返したり、ポスターやチラシについて、批評したりキャッチコピーを書いてみるなどの言語活動を通して指導事項を身に付けさせることを徹底するよう求めていきます。						
社会 (指導課)	3.30 pt	4.10 pt	pt	pt	pt	pt
単に社会的事象を暗記するだけの学習ではなく、習得した知識や技能を活用した思考力・判断力・表現力を育成する学習の仕方を研修講座や学校訪問等を通して繰り返し伝えてきた結果、通過率は上昇しています。今後は、比較的通過率の低い傾向にある資料活用の技能を高めるために、小学校の学習内容との関連を図った指導等の優れた実践例を紹介していきます。						
数学 (指導課)	3.70 pt	4.90 pt	pt	pt	pt	pt
学校訪問や研修講座を通して、数学的活動の充実について、例えば、ただ単に答えを求めるのではなく、思考過程をノートに記述したり、自分の考えやその根拠を筋道立てて説明したり、各自の考えを検討し合ったりして、思考の過程を振り返り、考えを深める活動を重視するよう繰り返し伝えてきたところ、通過率は上昇しています。今後は、通過率が低い傾向にある図形分野の指導について、具体物を用いて展開図や見取図をかかせたり、模型を用いたり実験による測定を行ったりして確かめるなど、実感を伴って理解できるようにすることをさらに求めていきます。						
理科 (指導課)	4.40 pt	4.00 pt	pt	pt	pt	pt
物理分野においては、扱う教材が「音、力、光、電流」などのように、目には見えないものが多く、また、化学分野においても、「溶質モデル」のように目に見えていない現象を扱うことがあります。それぞれの教材の特徴から、光であればレーザー光と煙、電流と磁界であれば電球や電流計、方位磁針など、それを感じ取らせる教具を使って理解させていきますが、この時の生徒の持つイメージを大切にしながら概念形成させていかなければなりません。 生徒の思考は目には見えないため、図や言葉で書き表すなどの「言語活動」を有効に活用するなどして、生徒のイメージを正確にとらえる授業を進めていきます。また、観察・実験においては興味関心の把握だけでなく、その教材を理解した上で観察・実験しているのか、を把握する視点が必要です。そのため、「生徒による説明」等の「言語活動」を組み入れた授業展開を進めていきます。						
英語 (指導課)	4.90 pt	5.40 pt	pt	pt	pt	pt
入門期においては、小学校外国語活動で培われたコミュニケーションに対する意欲を生かしながら、「聞く・話す」活動を通して音声に十分慣れ親しませながら、語順の定着を図りながら、文字指導をしていく必要があります。段階を追って、「読む・書く」活動の充実を図りながら、言語活動を通して文法の定着を図り、具体的な場面設定の下で活用させるコミュニケーション活動を行うことで、「聞く」「話す」「読む」「書く」4技能を総合的に育成し、コミュニケーション能力を向上させることが重要です。						

（3）教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問や教職員に対する研修講座を通じた指導・助言により、県学力状況調査の正答率が順調に伸びています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の一層の向上を図っていくためには、県学力状況調査結果を活用し、地域、学校、教室レベルまで分析するとともに、その結果を教育活動全体に役立てていく必要があります。 ・各学校が自校の更なる学力向上のために、具体的目標を定め、その達成に向けた行動計画（学力アクションプラン）の作成を支援していきます。

【目標指標】学校支援ボランティア数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

小中学校ともに100%、すべての学校で学校支援ボランティアの実施を目指します。
 毎年、1校あたり2名（「ゲストティーチャー」「学習アシスタント」を各1名ずつ増員）の増員を目指します。

指 標 名	方向	基準値			目標値 (H27)	実 績 値					現時点での達成率
		H22	H23	H24	H23	H24	H25	H26	H27		
学校支援ボランティア数	+	H22	2,356	人	3,046	2,604	**	**	**	**	85.5%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5010089	学校支援地域本部事業	社会教育課	12,291	3,675	4,382	拡充

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H22)	H23	H24	H25	H26	H27
学校支援地域本部事業 実施校の割合 (社会教育課)	10/70 校	22/69 校	校	校	校	校
地域の協力を必要としている全ての学校での事業実施を目指し、平成22年度の10校から平成23年度は22校に実施校が増加しています。平成24年度においても29校での実施を予定しており、学校支援地域本部事業の実施校の割合は、順調に増加しています。 引き続き、教育委員会と各学校が連携して課題解決と一緒に取組みます。						

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業実施校の増加に伴い、学校支援ボランティア数が順調に増加しています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校への支援体制が広がりを見せてきているものの、一方では学校と地域の橋渡しとなるコーディネーターの確保が課題となっています。 ・地域の協力を必要とする全ての学校での学校支援地域本部事業の設置を目指し、「学校支援コーディネーター」の確保に向けた学校の取組みを支援する方策を検討します。

平成24年度 事務の点検及び評価表
【政策第1節 学校教育の充実（2 教育環境の充実）】

【目標指標】 少人数学級編制を実施している学年の割合

<平成27年度目標指標設定の考え方>

小・中学校全9学年に対する少人数学級編制を実施している学年の割合を目標として、平成23年度に制度・体制を整備し、平成24年度から段階的に33人学級の実施を想定し、平成24年度 小3、平成25年度 小4、平成26年度 小5、平成27年度 小6として、平成27年度は、小学校における33人学級を目指します。

指 標 名	方向	基準値			目標値	実 績 値					現時点での達成率
		H22	H23	H24	(H27)	H23	H24	H25	H26	H27	
少人数学級編制を実施している学年の割合	+	H22	33.3	%	77.8	44.4	**	**	**	**	57.1%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
	当該事業なし					

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H22)	H23	H24	H25	H26	H27
市単独教員の採用 (学務課)	0 人	0 人	人	人	人	人
	平成24年度から33人学級編制を段階的に実施するため、平成24年度当初予算編成と並行し、将来の財政需要も見据えた実施の可能性について、関係部局と協議を行いました。東日本大震災以降、都市としての防災機能の向上や庁舎整備等への要請が高まったことから、市全体の実施事業に対する優先度を見直す必要が生じ、市全体の財政状況及び将来の財政需要を勘案した結果、現段階では平成24年度からの実施については困難であるとの判断に至りました。					
国・県などへの要望 (学務課)	0 回	7 回	回	回	回	回
	国及び県に対し、関係団体と連携しながら、少人数学級編制の計画的な実施について強く働きかけていきます。 【H24実績見込】 青森県市長会、中核市市長会、東北市長会、青森県市町村長会議、青森県都市教育長協議会、中核市教育長会、全国市町村教育委員会連絡協議会、青森県市町村教育委員会連絡協議会					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度は、県が小学校3年生における33人学級を実施したことから拡充が図られました。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国及び県において、平成24年度の実施は不透明な状況にあります。 市単独で33人学級を実施した場合には、教員の人件費など多額の経費を要することとなります。 少人数学級の早期実施に向け、市における単独実施も視野に入れるとともに、国及び県に対して強く働きかけていきます。

平成24年度 事務の点検及び評価表
【政策第1節 学校教育の充実（3 就学指導・支援の充実）】

【目標指標】 教育相談への相談件数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

一概に相談件数の増加が良いものとして判断はできませんが、気軽に相談できる体制や窓口の設置状況の判断の目安として相談件数を設定しています。

目標値の設定は、平成18年度と平成19年度に、全国でいじめによる自殺の社会問題が深刻化し、児童生徒はもとより保護者の危機感が高まり、その結果、相談件数が多かったものの、平成20年度から平成22年度は、いじめによる自殺問題が落ち着き、平常になっています。平成20年度から平成22年度(見込)までの年平均増減値(110件)を基準に相談件数を増加させていきます。

指標名	方向	基準値	目標値 (H27)	実績値					現時点での達成率
				H23	H24	H25	H26	H27	
教育相談への相談件数	+	H21 4,176 件	4,620	3,186	**	**	**	**	69.0%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業区分
5080022	教育相談適応指導事業	指導課	287	286	287	継続
5080023	スクールカウンセラー配置事業	指導課	0	0	0	継続
5080056	問題を抱える子ども等の自立支援事業	指導課	1,949	1,330	1,154	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
教育相談(研修センター) (指導課)	3,428 件	2,343 件	件	件	件	件
	教育相談員(6名)や臨床心理士(1名)が、不登校などの問題を抱える保護者、教職員、幼児児童生徒を対象に教育相談や適応指導を通して学校復帰、社会参加、自立を促し、豊かな心の育成を図っています。就学指導に関する研修講座の充実と教育相談員による学校訪問により、それに関わる相談件数は減少してきていますが、広報あおもりや市教育研修センターのホームページを通して、保護者、教職員、児童生徒に対して、教育相談について周知を図っていきます。					
スクールカウンセラー (指導課)	748 件	843 件	件	件	件	件
	県から中学校16校、小学校8校に配置されたスクールカウンセラーによる教育相談を通して、児童生徒・保護者の不安を軽減・解消したり、実技研修を通して教職員の教育相談に関する資質向上させたりすることで、児童生徒の人間性、社会性の育成を図っていきます。					
教育相談(各学校訪問) (指導課)	- 件	- 件	件	件	件	件
	適応指導教室に通級している不登校生徒の学校復帰に向けて、学校との連携を深めるため、23年度、教育相談員と指導主事が中学校、14校を訪問、情報交換及び指導・助言を行った件数は23件となっています。ただし、これは、来室相談、電話相談でないため平成23年度の相談件数の中には含まれていません。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【成果】 ・教育相談室の周知による相談件数の増加を目標に掲げていますが、相談件数は平成21年度の基準値より減少しています。</p> <p>【課題及び今後の方向性】 ・一概に相談件数の増加が良いものであるとの判断はできないものの、いじめ・不登校の減少に向け、早期発見(いじめ情報の収集件数の増加)、早期解決(相談する児童生徒の不登校の平均日数の減少)、再発防止(いじめ・不登校の再発率の減少)を図るためには、気軽に相談できる体制や教育相談についての多様な窓口の設置、家庭との連携方策についての検討が必要です。 ・国や県の動向を踏まえながら市のパンフレットの配布及び活用を検討するとともに、学校や地域、家庭教育学級などの中で、いじめや不登校など、その予防に向けた学習機会を設けていきます。 ・メールでの相談受付について、システムの構築、個人情報保護の確保、相談体制の充実等を踏まえて検討します。</p>
--

【目標指標】不登校から復帰した児童の割合

<平成27年度目標指標設定の考え方>

不登校から復帰した児童の割合は、平成22年度の見込み値が約34.8%であったことから、平成27年度は年平均増減+2.2%の45.8%を目標としています。

指標名	方向	基準値			目標値	実績値					現時点での達成率
		H21	H22	H23	(H27)	H23	H24	H25	H26	H27	
不登校から復帰した児童の割合	+	H21	61.1	%	45.8	39.0	**	**	**	**	85.2%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5080022	教育相談適応指導事業	指導課	287	286	287	継続
5080023	スクールカウンセラー配置事業	指導課	0	0	0	継続
5080056	問題を抱える子ども等の自立支援事業	指導課	1,949	1,330	1,154	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
教育相談(研修センター) (指導課)	3,428 件	2,343 件	件	件	件	件
	教育相談員(6名)や臨床心理士(1名)が、不登校などの問題を抱える保護者、教職員、幼児児童生徒を対象に教育相談や適応指導を通して学校復帰、社会参加、自立を促し、豊かな心の育成を図っています。就学指導に関する研修講座の充実と教育相談員による学校訪問により、それに関わる相談件数は減少してきていますが、広報あおもりや市教育研修センターのホームページを通して、保護者、教職員、児童生徒に対して、教育相談について周知を図っています。					
スクールカウンセラー (指導課)	748 件	843 件	件	件	件	件
	県から小学校8校に配置されたスクールカウンセラーによる教育相談を通して、児童生徒・保護者の不安を軽減・解消したり、実技研修を通して教職員の教育相談に関する資質向上させたりすることで、児童生徒の人間性、社会性の育成を図っています。					
学校訪問 (指導課)	50 校	49 校	校	校	校	校
	指導主事が全小学校を訪問し、不登校児童や登校しぶりの実態を把握し、それに対応した指導や家庭との連携を深める手立等について情報交換及び指導・助言を行ってきました。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校から復帰した児童生徒の割合は、基準値(H21 61.1%)より改善し、順調に増加しています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校を未然に防ぐためには、学校と家庭との情報交換・連携の強化を図る必要があります。 早期解決(児童生徒の不登校の平均日数の減少)及び再発防止(不登校の再発率の減少)を図るため、国や県の動向を踏まえながら市のパンフレットの配布及び活用を検討するとともに、学校や地域、家庭教育学級などの中で不登校の予防に向けた学習機会を設けていきます。 メールでの相談受付については、システムの構築、個人情報保護の確保、相談体制の充実等を踏まえて検討します。
--

【目標指標】不登校から復帰した生徒の割合

<平成27年度目標指標設定の考え方>

不登校から復帰した生徒の割合は、平成22年度の見込み値が27.2であることから、平成27年度は、年平均増減+1.2%の33.2%を目標としています。

指 標 名	方向	基準値			目標値	実 績 値					現時点での達成率
		H21	H22	H23	(H27)	H23	H24	H25	H26	H27	
不登校から復帰した生徒の割合	+	H21	28.9	%	33.2	40.3	**	**	**	**	121.4%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5080022	教育相談適応指導事業	指導課	287	286	287	継続
5080023	スクールカウンセラー配置事業	指導課	0	0	0	継続
5080056	問題を抱える子ども等の自立支援事業	指導課	1,949	1,330	1,154	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
適応指導教室(研修センター) (指導課)	19 人	16 人	件	件	件	件
学校に行きたくても行けない不登校の生徒を対象に、カウンセリング、教科指導、集団生活への適応指導などを行い、平成23年度は、16人の生徒が学校復帰・部分登校できました。						

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校から復帰した児童生徒の割合は、基準値(H21 28.9%)より改善し、順調に増加しています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校を未然に防ぐためには、学校と家庭との情報交換・連携の強化を図る必要があります。 早期解決(児童生徒の不登校の平均日数の減少)及び再発防止(不登校の再発率の減少)を図るため、国や県の動向を踏まえながら市のパンフレットの配布及び活用を検討するとともに、学校や地域、家庭教育学級などの中で不登校の予防に向けた学習機会を設けていきます。 メールでの相談受付については、システムの構築、個人情報保護の確保、相談体制の充実等を踏まえて検討します。
--

平成24年度 事務の点検及び評価表

【政策第2節 社会教育・生涯学習の推進（1 社会教育活動・生涯学習活動の推進）】

【目標指標】 市民センター及び公民館で開催する教育活動の参加者数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

平成23年度以降については、子ども向けの事業(子ども広場1,000人)、団塊世代講座(100人)の開催を予定していることから、平成22年度(見込)93,000人に1,100人を加えた94,100人を平成27年度の目標としています。浪岡地区においては増加傾向にあるが、地区住民の高齢化、人口の減少に伴い大幅な増加は見込めない状況にあるため、平成18～21年度の実績の最高値25,140人を平成27年度の目標としています。

指標名	方向	基準値		目標値 (H27)	実績値					現時点での達成率
					H23	H24	H25	H26	H27	
市民センター及び公民館で開催する教育活動の参加者数	+	H21	114,610 人	119,240	110,774	**	**	**	**	92.9%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度	H23年度	H24年度	事業区分
			予算額	予算額	予算額	
5010100	生涯学習情報提供事業	社会教育課	74	80	65	継続
5010101	生涯学習推進員設置事業	社会教育課	1,620	3,250	3,250	継続
5012009	生涯学習支援事業(中央市民センター)	中央市民センター	4,786	4,551	3,432	継続
5012010	プラネタリウム運営事業	中央市民センター	1,393	1,392	1,378	継続
5012014	少年少女発明クラブ支援事業(補助金)	中央市民センター	341	341	277	継続
5012016	生涯学習支援事業(地区市民センター)	中央市民センター	6,541	6,584	6,584	継続
5090010	養魚場活動事業	教育課	14	14	14	継続
5090012	山の家活動事業	教育課	184	184	184	継続
5090016	社会教育団体支援事業(補助金)	教育課	1,482	1,482	1,200	継続
5090017	浪岡公民館まつり支援事業(補助金)	教育課	540	540	437	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
青森地区市民センター及び公民館(中央市民センター)	38,146 人	34,194 人	人	人	人	人
	平成23年度は、市民スクールに夜間・土日休日の講座を開設し、新しい受講層を開拓しましたが、震災の関係で4月、5月の市民スクールが実施できなかったり、鉄道模型ショーをお盆時期に開催したことなどの理由で利用者が減少しました。平成24年度からは、耐震工事で施設は利用できないために、勤労青少年ホームを利用して講座等を実施していますが、「キッズスクール」を開催し従来より多くのメニューで子どもたちの講座を実施したり、引き続き夜間・土日の講座の開催、10月中央市民センターオープン時には、鉄道模型ショー・うたごえ喫茶・大人の映画会などを開催するなど、多くの方が生涯学習に親しめるよう仕掛けづくりに取り組んでいます。					
青森地区その他施設(中央市民センター)	51,324 人	56,110 人	人	人	人	人
	平成23年度市内各市民センターでは、センター祭・絵画展・市民スクール・水泳教室などにおいて参加者が増え、全体の数は増えました。平成24年度も各地区特色ある講座やイベントを企画し、多くの方に受講していただけるよう工夫しています。					
浪岡地区公民館(教育課)	25,140 人	20,470 人	人	人	人	人
	浪岡中央公民館、地区公民館(北中野、本郷、野沢、女鹿沢、大杉)において高齢者講座(手工芸・ユニカール・健康教室・料理・移動学習等)、趣味講座(書道・ダンス・手工芸・生け花・パソコン・料理等)、青少年講座(キャンプ・ボウリング・お菓子作り・手工芸・スケート等)などの事業を実施しました。また、各公民館において、公民館まつりも行われました。参加者数の減少については、地域人口の減少と地区公民館において行われていた一輪車教室事業が、指導者の不在により廃止となったことによると考えられます。平成24年度は、これまで好評であった講座の他、地域の状況に応じた事業を積極的に展開し、地域住民の生涯学習への振興を図っていきます。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

【成果】
 ・震災による休館の影響により、全体の利用者は減少していますが、センター祭、絵画展、市民スクール、水泳教室など各事業においては、参加者が増えています。

【課題及び今後の方向性】
 ・現代的・社会的な課題に対し、自らの問題として捉えるとともに、地域の課題解決を住民自らが主体的に担うことができる力を身に付けられるよう、社会教育主事等を活用しながら、現代的・社会的な課題等に対応した学習機会の充実を図ります。
 ・青森市生涯学習推進委員会からの提言書(平成24年5月)にある意見・提案について、可能な限り事業等の取組へ反映させるよう検討します。

平成24年度 事務の点検及び評価表
 〔政策第2節 社会教育・生涯学習の推進(2 青少年の健全育成)〕

【目標指標】 JUMPチームに所属する児童生徒数

＜平成27年度目標指標設定の考え方＞

小学校においては、平成23年度からリトルJUMPチームが結成されます。現在、JUMPチームに所属する中学校生徒がここ5年間で550人前後で固定化しています。今後、1年ごとに小学校を2校ずつ増し、小学校1校につき5名（内訳は児童会会長、副会長2名、書記2名）増加することを目指し、平成27年度の目標を608人としています。

指 標 名	方向	基準値			目標値	実 績 値					現時点での達成率
		H22	H23	H24	(H27)	H23	H24	H25	H26	H27	
JUMPチームに所属する児童生徒数	+	H22	558	人	608	599	**	**	**	**	98.5%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
	該当事業なし					

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H22)	H23	H24	H25	H26	H27
所属する児童がいる学校の割合 (指導課)	0/70 校	3/69 校	校	校	校	校
	平成22年度までは、小学校でのJUMPチーム結成の例がなく、リトルJUMPチームを周知することからスタートしました。徐々に学校の理解が得られ始め、平成23年度は3校が参加し、46名の所属となっています。今後さらに数校がリトルJUMPチームを結成する予定です。					
小・中連携して取り組んでいる中学校の割合 (指導課)	0/20 校	3/20 校	校	校	校	校
	公立の全中学校20校においてJUMPチームが結成されています。平成23年度は、553名がJUMPチームに所属しています。今後は中学区内の小学校にリトルJUMPチームの結成を進め、活動の充実を図っていきます。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての中学校で結成されており、また、小学校においても平成23年度から新たに3校結成され、JUMPチームに所属する児童生徒は順調に増加しています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広い世代(高校生や大学生)への活動の浸透と活動内容の充実が求められています。 小学校における結成促進に引き続き努めるとともに、高校生JUMP、大学生との連携した取組みを検討します。 JUMPチームの活動内容の充実と活動状況に関する情報を発信します。

平成24年度 事務の点検及び評価表
 政策第3節 文化・芸術の推進(1 文化・芸術活動の推進)

【目標指標】文化施設利用者数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

各施設とも過去の利用者数の推移を勘案し、年間平均増加数または過去の最高値を平成27年度の目標としました。

指標名	方向	基準値		目標値 (H27)	実績値					現時点での達成率
					H23	H24	H25	H26	H27	
文化施設利用者数	+	H21	578,917 人	745,798	634,718	**	**	**	**	85.1%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5011007	文化振興施設運営管理事業(文化振興事業)	文化スポーツ振興課	23,137	23,137	23,137	継続
5011008	文化振興施設運営管理事業(文化施設管理)	文化スポーツ振興課	367,226	361,051	372,894	継続
5090005	中世の館運営管理事業(施設管理運営事業)	教育課	26,876	26,956	26,583	継続
5090006	中世の館運営管理事業(文化振興事業)	教育課	727	727	727	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
リンクステーションホール青森(文化会館)利用者数 (文化スポーツ振興課)	296,027 人	348,079 人	人	人	人	人
平成23年度は前年度に行ったアンケートをもとに、幼児と一緒に鑑賞できるクラシックコンサートや、インターネットに施設の空室状況を掲載する等利用者数の増加に努めました。今年度も引き続き、魅力的な事業の企画内容を検討する他、様々な広報媒体を活用し施設の周知に努めていきます。						
市民ホール(文化交流ホール)利用者数 (文化スポーツ振興課)	145,075 人	148,612 人	人	人	人	人
平成23年度はギャラリーにおいて、市内アーティストに発表の場を提供するストリート・ミニ・ミュージアムの開催や、インターネットに施設の空室状況を掲載する等利用者数の向上に努めました。今年度も引き続き、魅力的な事業の企画内容を検討する他、様々な広報媒体を活用し施設の周知に努めていきます。						
市民美術展示館利用者数 (文化スポーツ振興課)	118,927 人	117,407 人	人	人	人	人
平成23年度は書道団体等の展示規模、集客数の減少に伴い、基準値より減少したものの、青森市所蔵作品展示等の実施やインターネットに施設の空室状況を掲載する等利用者数の向上に努めました。今年度も引き続き、魅力的な事業の企画内容を検討する他、様々な広報媒体を活用し施設の周知に努めていきます。						
合浦亭利用者数 (文化スポーツ振興課)	650 人	800 人	人	人	人	人
平成23年度は施設利用者の増加を図るため、指定管理者と連携して広報あおもりにて積極的にPRした結果、目標を上回る利用がありました。今年度は、合浦公園の春祭りに合わせ、「お花見茶会」を指定管理者の自主事業として企画するなど、多方面からPRに努めています。						
中世の館利用者数 (教育課)	17,031 人	17,725 人	人	人	人	人
平成23年度は事業参加者や施設利用者の要望をもとに、指定管理者の自主事業として「阿部合成展」や北畠まつり共催事業・中世の館夏の祭典等を開催した結果、利用者数が増加しました。今年度も引き続き、指定管理者の自主事業として、魅力的な事業の企画内容を検討するほか、施設の周知に努めていきます。						
浪岡城跡案内所(ホール) (教育課)	160 人	498 人	人	人	人	人
平成23年度は指定管理者の自主事業として「お花見コンサート」等を開催した結果、利用者数が増加しました。今年度も引き続き、企画内容を検討し、新規自主事業を開催し施設の周知に努めていきます。						
浪岡城跡案内所(ガイダンス) (教育課)	1,047 人	1,597 人	人	人	人	人
平成23年度は隣接するホール利用者の増に伴い、利用者数が増加しました。今年度は、平成23年度中に作成した施設リーフレットを活用し、引き続き施設の周知を図っていきます。						

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災による休館の影響があったものの施設利用者のアンケートや空き室状況の情報提供など、新たな取組みなどにより、各施設利用者数は概ね順調に増加しています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校向けに、出前活動(アウトリーチ活動)や文化芸術に関する情報提供の充実が必要です。 市の観光イベントと連携した取組の検討や街中の施設で発表できる機会の充実や学校に対する文化芸術に関する情報提供の充実を検討します。 中世の館や浪岡城跡の歴史的背景に関連する都市との連携した情報提供や事業展開について検討します。

平成24年度 事務の点検及び評価表
 【政策第3節 文化 芸術の推進 (2 郷土の文化資産の活用 継承)】

【目標指標】文化資産を活用した事業の参加者数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

各施設とも過去の参加者数の推移を勘案し、平成27年度は年間平均増加数を加えた10,528人を目標としました。

指標名	方向	基準値	目標値 (H27)	実績値					現時点での達成率
				H23	H24	H25	H26	H27	
文化資産を活用した事業の参加者数	+	H21 9,970 人	10,528	9,867	**	**	**	**	93.7%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5011001	市所蔵美術品活用事業	文化スポーツ振興課	0	0	0	継続
5090004	小学生芸術鑑賞教室事業	教育課	1,370	1,370	1,279	継続
5090008	浪岡舞台演劇公演支援事業(補助金)	教育課	270	270	243	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
市所蔵美術品活用事業 (文化スポーツ振興課)	2,656 人	2,250 人	人	人	人	人
平成23年度については、「まちなかロビー展」での所蔵作品の展示受け入れ先1ヵ所から、場所の確保が難しいとの申し出があり、それまでの4点から3点に展示数が減ったことに加え、市所蔵作品展の来場者数が伸び悩んだことにより、目標に届きませんでした。平成24年度においては、文化財課と連携し、まちなかで所蔵作品を展示したり、関係機関と連携して展示内容等を工夫したりするなど、文化資産のさらなる活用を図っていきます。						
中世の館文化資産活用事業 (教育課)	5,693 人	6,043 人	人	人	人	人
平成23年度は指定管理者の自主事業内容を拡充(5月の開催事業「ふれあいジャンボリー」の企画変更)したほか、新規事業(ニューイヤーコンサート)を開催したこと等により、来場者数が増加しました。平成24年度は、文化振興の拠点施設として、より多くの集客が見込めるような企画内容を検討するほか、事業開催の周知に努めます。						
小学生芸術鑑賞教室事業 (教育課)	1,153 人	1,076 人	人	人	人	人
平成23年は中世の館ホールを会場に、7月13日、14日の2日間、演目「ミュージカル『ゼロ弾きのゴースト』」を開催しました。今後も人間性豊かな児童の育成環境を整えるため浪岡地区内の小学生に優れた芸術に触れて感動を与える機会を提供していきます。						
浪岡舞台演劇公演支援事業 (教育課)	468 人	498 人	人	人	人	人
平成23年度は、9月2日、3日中世の館において第24回公演「十三回忌のはんこ」を上演しました。今後も地域における舞台芸術の活性化及び人材育成を図るために、住民参加型の公演活動に取り組み、演劇公演実行委員会への支援を実施していきます。						

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちなかロビー展」の展示場所の1ヵ所が減少したものの全体の参加者数は順調に推移しています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちなかロビー展」は、市内全域を視野に入れ検討する必要があります。 ・文化資産を活用した事業の参加者の増加(特に「まちなかロビー展」)を図るため、現行エリア内における展示場所等を拡大するなど、展示内容の充実に努めます。
--

平成24年度 事務の点検及び評価表
【政策第3節 文化・芸術の推進(3 文化財の保存・発信)】

【目標指標】文化財を活用した事業の参加者数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

各施設とも過去の参加者数の推移を勘案し、平成27年度は年間平均増加数を加えた41,716人を目標としました。

指標名	方向	基準値	目標値	実績値					現時点での達成率
			(H27)	H23	H24	H25	H26	H27	
文化財を活用した事業の参加者数	+	H21 23,648 人	41,716	19,038	**	**	**	**	45.6%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業区分
5013003	文化財保護事務	文化財課	47	47	148	継続
5013009	小牧野遺跡整備事業	文化財課	13,838	20,023	24,999	継続
5013012	史跡見学者対策事業	文化財課	1,509	1,509	1,472	継続
5013031	世界遺産登録推進事業	文化財課	2,020	2,344	2,452	継続
5013020	森林博物館運営管理事業	文化財課	17,935	15,395	15,572	継続
5090007	浪岡地区文化財管理事業	教育課	1,348	1,378	1,364	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
小牧野遺跡見学者数 (文化財課)	2,944 人	2,513 人	人	人	人	人
平成23年度は、世界遺産ツアーや小牧野遺跡での植樹祭等のイベントなど、世界遺産登録や史跡を活用した取組みを実施しています。平成24年度からは、市民による小牧野遺跡ボランティアサポーターとともに遺跡の整備等の実施を計画しています。加えて、見学者の増加や利便性の向上を図るため、史跡の隣接地に管理棟の建設を予定しており、平成27年度の利用開始を目標に設計業務等を進めています。						
石江遺跡群見学者数 (文化財課)	65 人	- 人	人	人	人	人
石江遺跡群の発掘調査現場作業が平成22年度で終了したことに伴い、遺跡の見学を終了しました。						
移動縄文展来場者数 (文化財課)	7,966 人	- 人	人	人	人	人
小牧野遺跡の世界遺産登録推進に向け、市民センター等でのパネル掲示を行いました。より積極的な遺跡のPRと世界遺産への理解を図るため、平成23年度から小牧野遺跡と世界遺産候補の遺跡を活用した事業として整理し、移動縄文展としての事業を終了しました。						
森林博物館入館者数 (文化財課)	9,070 人	8,735 人	人	人	人	人
平成23年度は、前年度に続き無料入館イベント「ふれあいデー」や各企画展を実施したものの、入館者が減少しました。このため、平成24年度は、前年度までの取組に加え、無料入館イベント「夏休みふれあいデー」を新たに設けることで利用促進を図ることとしています。						
出前展示(小中学校 他)(文化財課)	611 人	367 人	人	人	人	人
出前展示の実績は、平成21年度が中学校1校・小学校4校であり、平成23年度利用学校数が小学校7校と、平成21年度と比較し増加しています。しかし、在籍する児童・生徒数が減少したことにより実績は減少となった。平成24年度は、年度当初の4月に行われた校長会での周知や、各学校への案内送付を行いますが、今後、学校の来年度計画策定期等に各学校等へ通知するなど、PRを積極的に行っていきます。						
ストリート・ミニ・ミュージアム来場者(歴史民俗資料) (文化財課)	- 人	2,084 人	人	人	人	人
平成23年度から、展示活用事業を『ストリート・ミニ・ミュージアム』と称して実施しています。平成22年度の試行では、928人の来場者があり、平成23年度では来場者が増加しています。平成24年度についても10月・11月にそれぞれ1週間程度の展示を実施し、市所蔵の文化資産の活用と、市民への文化・芸術に対する理解及び郷土愛の醸成が図られるよう、より多くの集客が見込めるような企画や開催場所の検討のほか、事業開催の周知に努めて行くこととしています。						
青森市中世の館展示 観覧者数 (教育課)	1,218 人	1,349 人	人	人	人	人
市内の観光施設に施設リーフレットを配置するなど、積極的な周知活動を行った結果、平成23年度では見学者数が増加しました。 平成24年度は、引き続き施設並びに事業開催の周知に努めていきます。						
旧坪田家住宅見学者数 (教育課)	316 人	1,235 人	人	人	人	人
施設の周知のほか、施設を活用した自主事業(中世の館夏の祭典「民具・農具展」)等の開催等により、平成23年度では見学者数が増加しました。 平成24年度は、引き続き施設並びに事業開催の周知に努めるほか、魅力的な事業となるよう事業内容の検討を図ることとします。						

中世の館文化財資産 活用事業参加者数 (教育課)	251 人	660 人	人	人	人	人
	指定管理者の自主事業として開催している事業であり、平成23年度は自主事業の内容を拡充（「浪岡城跡やぶこぎ大会」に、前夜祭「雪女コンテスト」を新規開催）したことにより来場者数が増加しました。 平成24年度は、引き続き郷土の歴史、民俗等に関する施設として、市民の理解と郷土愛の醸成が図られるよう、より多くの集客が見込めるような企画内容の検討のほか、事業開催の周知に努めていくこととしています。					
浪岡城跡案内所利用者数 (教育課)	1,207 人	2,095 人	人	人	人	人
	施設の周知のほか、施設を活用した自主事業（浪岡城跡クリーン作戦）の開催等により、平成23年度では見学者数が増加しました。 平成24年度は、引き続き郷土の歴史、民俗等に関する施設として、市民の理解と郷土愛の醸成が図られるよう、より多くの集客が見込めるような企画内容の検討のほか、事業開催の周知に努めていくこととしています。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度から、新たに展示活用事業として『ストリート・ミニ・ミュージアム』を実施したものの、全体の参加者が減少しました。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各文化財の所在地の認知度が低く、新規事業等の企画や視覚的な広報活動が必要です。 小牧野遺跡に関連した情報を、市民や観光客へPRする方法の検討が必要です。 事業参加者の増加に繋がる取組みを検討します。 世界遺産登録を目指す小牧野遺跡の認知度を高めるため、新規事業の企画や他の縄文遺跡群との連携した広報活動を検討します。

平成24年度 事務の点検及び評価表

【政策第4節 スポーツ・レクリエーションの推進(1 スポーツ・レクリエーション活動の推進)】

【目標指標】 スポーツ施設利用者数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

各施設とも過去の利用者数の推移を勘案し、年間平均増加数又は過去の最高値を平成27年度の目標としました。

指標名	方向	基準値		目標値	実績値					現時点での達成率	
		H21	H23	(H27)	H23	H24	H25	H26	H27		
スポーツ施設利用者数	+	H21	937,517	人	1,044,623	876,957	**	**	**	**	83.9%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5011051	生涯スポーツ・レクリエーション支援事業	文化スポーツ振興課	628	5,388	4,975	継続
5011056	スポーツ振興施設運営管理事業(スポーツ振興事業)	文化スポーツ振興課	7,965	3,465	3,103	継続
5011057	スポーツ振興施設運営管理事業(スポーツ施設管理)	文化スポーツ振興課	368,840	317,057	311,414	継続
5011067	スポーツ事業後援事業	文化スポーツ振興課	74	35	0	縮小
5011079	市民室内プール改修事業	文化スポーツ振興課	0	0	228,362	新規
5090019	中世の里マスターズ駅伝大会支援事業(補助金)	教育課	457	457	370	継続
5090020	スポーツフェスティバル支援事業(補助金)	教育課	72	72	58	継続
5090021	浪岡地区体育大会支援事業(補助金)	教育課	960	960	777	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
市民体育館利用者数 (文化スポーツ振興課)	159,556 人	171,406 人	人	人	人	人
	指定管理者による施設利用PR及び施設機能を活かした各種スポーツ教室の開催、更には利用者の声を施設運営に反映させるなどにより、利用機会の拡大に努めたほか、全国高校総体の新体操・卓球競技の練習会場として活用されたことなどから、利用者数の増加が図られました。今後は施設の空き情報の提供などにより一層の利用PRに努めていきます。					
市民室内プール利用者数 (文化スポーツ振興課)	72,864 人	39,334 人	人	人	人	人
	震災による1ヶ月程度の休館及び天井部材落下による6ヶ月以上の長期休館の影響から、利用者数は基準値を下回りましたが、代替として、西部・古川市民センターのプールが利用できることや、代替の教室を開催することをPRした結果、両施設の平成22年度下半期と平成23年度下半期と比較した場合、利用者数が西部市民センターで2,622人、古川市民センターで4,087人それぞれ増加しました。今後は長期休館の事態に至らないよう、施設の適正な維持管理により一層留意していきます。					
市営野球場利用者数 (文化スポーツ振興課)	199,395 人	144,840 人	人	人	人	人
	指定管理者が実施する小学生野球教室において、定員を平成22年度の125人から平成23年度は254人に増加させるなど、利用機会の拡大に努めましたが、夏の全国高校野球県大会において地元チームの対戦カードが少なく観客数が伸び悩んだことなどから、利用者数は基準値を下回りました。今後は施設の空き情報の提供など、より一層の利用PRに努めていきます。					
市営庭球場利用者数 (文化スポーツ振興課)	1,553 人	1,552 人	人	人	人	人
	指定管理者が実施するテニス教室の参加者数が平成22年度の213人から平成23年度は245人に増加したほか、全国高校総体の期間においては練習希望の選手に施設を開放するなど、利用機会の拡大に取り組みしました。今後は施設の空き情報の提供など、より一層の利用PRに努めていきます。					
スポーツ会館利用者数 (文化スポーツ振興課)	152,008 人	150,695 人	人	人	人	人
	指定管理者による施設利用PR及び施設機能を活かした各種スポーツ教室の開催、更には利用者の声を施設運営に反映させるなどにより、利用機会の拡大に努めたものの、震災による1ヶ月程度の施設休館等の影響から、利用者数は基準値を下回りました。今後は施設の空き情報の提供など、より一層の利用PRに努めていきます。					
屋内グラウンド利用者数 (文化スポーツ振興課)	162,315 人	179,130 人	人	人	人	人
	スポーツ教室等の開催では、平成23年度は新たに楽天野球教室を開催し、平成22年度の9事業1,369人の参加人数から、平成23年度は10事業1,538人となり、利用者数の増加に取り組みしました。また、HP等によるPRの取組により、主競技場やジョギングコースの利用者数が増加しました。今後は施設の空き情報の提供など、より一層の利用PRに努めていきます。					

スポーツ広場利用者数 (文化スポーツ振興課)	87,764 人	99,783 人	人	人	人	人
	指定管理者による施設利用PR及び施設機能を活かした各種スポーツ教室の開催、更には利用者の声を施設運営に反映させるなどにより、利用機会の拡大に努めました。特に夜間照明施設の積極的な活用(野球場、サッカー場、ラグビー場、庭球場)により、利用者数の着実な増加が図られました。今後は施設の空き情報の提供など、より一層の利用PRに努めていきます。					
夜間スポーツ広場(泉川・大野・浜田)利用者数 (文化スポーツ振興課)	2,737 人	1,939 人	人	人	人	人
	広報紙や市HPなど市の有する広報媒体を活用し、PRに努めたものの、夜間スポーツ広場を利用していった団体がスポーツ広場に利用を切り替える等の理由により団体利用が減少したため、基準値を下回りました。今後は施設の空き情報の提供など、より一層の利用PRに努めていきます。					
瀬戸子グラウンド利用者数 (文化スポーツ振興課)	7,615 人	100 人	人	人	人	人
	広報紙や市HPなど市の有する広報媒体を活用しPRに努めたものの、ここ数年は利用者が激減していることから、当面は施設の空き情報の提供など、より一層の利用PRに努めていく一方、今後の施設のあり方について、存廃も含め検討します。					
浪岡体育館利用者数 (教育課)	66,016 人	55,063 人	人	人	人	人
	施設の周知のほか、自主事業や補助事業など、事業参加者や施設利用者の声を反映させるなどして、快適な環境整備に努めてきましたが、平成23年度では、年度当初の震災の影響等で利用者数は基準値を下回りました。 今後についても、スポーツ・レクリエーション施設機能の充実を図り、体育館及び、別館(武道館)の適正な施設管理に努めることとしています。					
浪岡野球場	5,731 人	4,932 人	人	人	人	人
	施設利用者の声を反映させるなど、快適な環境整備に努めてきましたが、平成23年度では年度当初の震災の影響等で夜間照明が使用できなかったことから、利用者数は基準値を下回りました。 引き続き、スポーツ・レクリエーション施設機能の充実を図り、施設の適正な管理に努めることとしています。					
浪岡陸上競技場	10,353 人	16,338 人	人	人	人	人
	施設利用者の声を反映させるなど、快適な環境整備に努め、平成23年度には利用者数が増加しました。 引き続き、スポーツ・レクリエーション施設機能の充実を図り、施設の適正な管理に努めることとしています。					
浪岡相撲場	600 人	610 人	人	人	人	人
	施設利用者の声を反映させるなど、快適な環境整備に努め、平成23年度には利用者数が増加しました。 引き続き、スポーツ・レクリエーション施設機能の充実を図り、施設の適正な管理に努めることとしています。					
浪岡庭球場	9,010 人	11,235 人	人	人	人	人
	施設の周知のほか、事業参加者や施設利用者の声を反映させるなど、快適な環境整備に努め、平成23年度には利用者数が増加しました。 引き続き、スポーツ・レクリエーション施設機能の充実を図り、施設の適正な管理に努めることとしています。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

【成果】

・震災、市民室内プールの工事などの要因により利用者が減少しました。

【課題と今後の目標】

- ・新たなスポーツイベントの開催など、事業の見直しが求められています。
- ・新たなスポーツ(高齢者が手軽に楽しめるスポーツを含む)の普及など、事業の見直しを検討します。
- ・施設の利用者の利用状況やニーズの把握や高齢者へのスポーツの普及が必要です。
- ・市内のスポーツ施設の利用状況や利用者ニーズを把握します。
- ・市所有施設以外も含めた効果的な活用促進策について検討します。

平成24年度 事務の点検及び評価表
 【政策第4節 スポーツ・レクリエーションの推進(2 ウィンタースポーツの推進)】

【目標指標】 ウィンタースポーツ事業の参加者数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

各施設とも過去の参加者数の推移を勘案し、年間平均増加数または過去の最高値を平成27年度の目標としました。

指標名	方向	基準値	目標値 (H27)	実績値					現時点での達成率
				H23	H24	H25	H26	H27	
ウィンタースポーツ事業の参加者数	+	H21 797 人	937	777	**	**	**	**	82.9%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5011061	小・中学生カーリング普及事業	文化スポーツ振興課	80	80	80	継続
5011066	全国高等学校カーリング選手権大会開催事業	文化スポーツ振興課	5,360	5,360	4,616	継続
5011068	スキースロープ設置助成事業	文化スポーツ振興課	600	600	600	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
全国高等学校カーリング選手権大会参加者数 (文化スポーツ振興課)	44 人	41 人	人	人	人	人
	全国の高校生カーラーを一堂に集めた「全国高等学校カーリング選手権大会」を開催し、カーリングの街・青森を全国に向け発信しました。平成23年度は強く働きかけを行ったものの西日本ブロックからのチーム参加が得られなかったため、参加者数は基準値を下回りました。平成24年度は青森県カーリング協会、更には日本カーリング協会との連携も密にしながら、全国各ブロックからチームが出場できるよう、早い時期からの出場要請を含め万全の対策を講じていくこととします。					
小学生カーリングチャレンジカップ参加者数 (文化スポーツ振興課)	130 人	122 人	人	人	人	人
	市内の小学生を対象とした「カーリングチャレンジカップ」を開催し、競技人口の裾野拡大及び競技力の向上に取り組みました。また、初心者でも大会に参加できるよう、競技会に加え「講習会」を開催し、初歩的な技術を習得できる機会を提供しました。今後も同様の取組の継続実施により、冬期間の恒例イベントとして市民への定着を図っていきます。					
中学生カーリングチャレンジカップ参加者数 (文化スポーツ振興課)	24 人	32 人	人	人	人	人
	市内の中学生を対象とした「カーリングチャレンジカップ」を開催し、競技人口の裾野拡大及び競技力の向上に取り組みました。また、初心者でも大会に参加できるよう、競技会に加え「講習会」を開催し、初歩的な技術を習得できる機会を提供しました。今後も同様の取組の継続実施により、冬期間の恒例イベントとして市民への定着を図っていきます。					
歩くスキースの集い参加者数 (文化スポーツ振興課)	54 人	30 人	人	人	人	人
	スポーツ推進委員の協力をいただきながら、合浦公園を会場に、「歩くスキースの集い」を開催しウィンタースポーツの推進と冬期間の体力づくりに取り組みましたが、荒天の影響で当日参加をキャンセルした方が多く、参加者数は基準値を下回りました。今後も市の広報媒体を活用した参加PRにより、参加者の増大に取り組んでいくこととします。					
(財)青森市文化スポーツ振興公社 ウィンタースポーツ(カーリング)事業参加者数(文化スポーツ振興課)	505 人	498 人	人	人	人	人
	カーリング場を有するスポーツ会館の指定管理者の自主事業として、小学生カーリング大会及びカーリング感謝デーを開催し、競技人口の裾野拡大及び競技力の向上に取り組みました。					
健康づくり元旦ジョギング参加者数 (教育課)	40 人	54 人	人	人	人	人
	指定管理者の自主事業として、元旦に実施している1.5キロと4キロの2コースで実施しています。平成23年度は参加者の増が見られました。今後も住民の健康増進を目指し、スポーツの振興を図っていくこととします。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィンタースポーツ事業の参加者は、平成23年度の実績で平成21年度基準値を下回っています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加のため、新たなスポーツイベントの開催、魅力ある教室の開催、開催場所の検討など、事業の見直しが必要です。 ・新たなスポーツイベントの開催、魅力ある教室の開催、開催場所の検討など、事業の見直しを検討します。 ・広報活動が効果的に実施されているかの点検が必要です。 ・広報活動の充実に向けた方策について検討します。
--

【目標指標】ウィンタースポーツ施設利用者数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

各施設とも過去の参加者数の推移を勘案し、年間平均増加数又は過去の最高値を平成27年度の目標としました。

指標名	方向	基準値	目標値 (H27)	実績値					現時点での達成率
				H23	H24	H25	H26	H27	
ウィンタースポーツ施設利用者数	+	H21 113,234 人	116,467	106,449	**	**	**	**	91.4%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業区分
5011061	小・中学生カーリング普及事業	文化スポーツ振興課	80	80	80	継続
5011066	全国高等学校カーリング選手権大会開催事業	文化スポーツ振興課	5,360	5,360	4,616	継続
5011068	スキースロープ設置助成事業	文化スポーツ振興課	600	600	600	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
モヤヒルズ利用者数 (文化スポーツ振興課)	83,900 人	77,542 人	人	人	人	人
	モヤヒルズ内にスキー・スノーボードに対応可能なスキー場を設置し、広報紙やHPなど市の広報媒体を活用し、利用機会の拡大を図りましたが、シーズン中の天候の影響により、利用者数は基準値を下回りました。今後も引き続き施設PRに努め、利用者の拡大に取り組んでいきます。 経済部所管事業					
スポーツ会館カーリング場利用者数 (文化スポーツ振興課)	28,966 人	28,692 人	人	人	人	人
	スポーツ会館にカーリング場を設置し、広報紙やHPなど市の広報媒体を活用し利用促進を図ったほか、指定管理者の自主事業として、小学生カーリング大会及びカーリング感謝デー開催し、利用促進及び競技人口の裾野拡大に取り組みましたが、震災による1ヵ月程度に及ぶ施設休館等の影響から、利用者数は基準値をやや下回りました。今後も同様の事業の継続実施により、利用者の増加に取り組んでいきます。					
合浦公園(歩くスキー) (文化スポーツ振興課)	368 人	215 人	人	人	人	人
	合浦公園内に歩くスキーのコースを設定するとともに、スキー用具の無料貸し出しを行ってウィンタースポーツの推進と冬期間の体力づくりに取り組みましたが、シーズン中の天候の影響により、利用者数は基準値を下回りました。今後も市の広報媒体を活用したPRにより、利用者の増大に取り組んでいきます。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィンタースポーツ施設利用者は、平成23年度の実績で平成21年度基準値を下回っています。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会レベルの大会の誘致を検討します。 ・今後、策定予定の「(仮称)青森市スポーツ推進計画」において、本市が「カーリングの街」であることを市民に定着させていくことが必要です。 ・今後、策定予定の「(仮称)青森市スポーツ推進計画」の中で、「カーリングの街・青森」の実現に向けた振興方策を検討します。
--

平成24年度 事務の点検及び評価表
【政策第4節 スポーツ・レクリエーションの推進(3 競技力の向上)】

【目標指標】 体育指導委員活動回数
 <平成27年度目標指標設定の考え方>

近年5ヵ年の最大値である平成20年度の2,345回を平成27年度の目標としました。

指標名	方向	基準値	目標値 (H27)	実績値					現時点での達成率
				H23	H24	H25	H26	H27	
体育指導委員活動回数	+	H21 2,103 回	2,345	2,439	**	**	**	**	104.0%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5011058	スポーツ推進委員設置事業	文化スポーツ振興課	2,296	2,296	2,296	継続

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H21)	H23	H24	H25	H26	H27
スポーツ推進委員活動回数 (文化スポーツ振興課)	2,103 回	2,439 回	回	回	回	回
	スポーツ基本法の規定に基づき、市民に対する実技指導をはじめとしたスポーツに関する指導・助言等の役割を担っていただくスポーツ推進委員を40名委嘱し(任期はH23.4.1から2年間)、各団体やサークルの要請に応じてスポーツ活動の推進に取り組んでいただき、活動回数も平成23年度実績で目標を達成しました。 <活動回数増加の主な要因> スポーツに関する関心の高まりにより、これまで不定期あるいは週1回程度の活動から週2~3回へと活動内容を拡充させたサークルもあり、これに伴いスポーツ推進委員の活動回数も大幅に増加しました。 スポーツ基本法の施行に伴い、名称を従来の「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」に変更しました。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育指導委員活動回数は、市民の需要を踏まえ、スポーツ推進委員(旧名称:体育指導委員)の見直しなどの取組により、平成23年度実績は、平成27年度の目標値を上回りました。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員については、指導者としての能力以外に、サークルや団体が自ら企画・立案・運営できるようアドバイスしていく役割の他、地域住民のニーズを踏まえたスポーツのコーディネーターとしての役割も求められています。 ・スポーツ推進委員の更なる資質向上を図るための取組について検討します。

【目標指標】スポーツ賞及びスポーツ奨励賞受賞件数

<平成27年度目標指標設定の考え方>

スポーツ賞は減少傾向にあるため、近年5カ年の最高値である平成20年度の13件を平成27年度の目標としました。スポーツ奨励賞は増加傾向にあるため、年平均増減の1件を加えた値を平成27年度の目標としました。

指標名	方向	基準値			目標値	実績値					現時点での達成率
		H22	H23	H24	(H27)	H23	H24	H25	H26	H27	
スポーツ賞及びスポーツ奨励賞受賞件数	+	H22	136	件	147	129	**	**	**	**	87.8%

(1) 目標指標に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業区分
5011054	青森市体育・スポーツ競技団体育成強化事業（補助金）	文化スポーツ振興課	4,561	4,214	6,722	継続
5011058	スポーツ推進委員設置事業	文化スポーツ振興課	2,296	2,296	2,296	継続
5011065	県民体育大会参加事業（負担金）	文化スポーツ振興課	100	3,768	100	継続
5011069	スポーツ賞表彰事業	文化スポーツ振興課	733	544	597	継続
5011072	青森市中学校体育大会夏季大会開催事業（負担金）	文化スポーツ振興課	250	250	250	継続
5011074	中学校体育大会選手派遣事業（補助金）	文化スポーツ振興課	8,796	6,864	2,936	縮小
5011075	中学校体育大会開催事業（補助金）	文化スポーツ振興課	50	0	1,100	継続
5011076	高等学校全国大会選手派遣事業（補助金）	文化スポーツ振興課	0	0	3,400	縮小

(2) 目標指標に関連する教育委員会事務局の取組状況

区分	基準値(H22)	H23	H24	H25	H26	H27
スポーツ賞受賞件数	7 件	8 件	回	回	回	回
	<指導者の確保> スポーツ推進委員の設置及び各種研修会への参加支援など、指導者の確保及び資質向上に取り組みました。 <競技力の向上> (財)青森市体育協会が実施する競技力向上に資する各種事業に対して補助金を交付したほか、更なる競技力の向上を図るため、優秀な成績を収めた個人・団体に対する表彰を実施しました。表彰者については、広報あおもりに掲載し、広く周知に努めました。					
スポーツ奨励賞受賞件数	129 件	121 件	人	人	人	人
	<指導者の確保> スポーツ推進委員の設置及び各種研修会への参加支援など、指導者の確保及び資質向上に取り組みました。 <競技力の向上> (財)青森市体育協会が実施する競技力向上に資する各種事業に対して補助金を交付したほか、更なる競技力の向上を図るため、優秀な成績を収めた個人・団体に対する表彰を実施しました。表彰者については、広報あおもりに掲載し、広く周知に努めました。					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ賞の受賞件数は増えましたが、スポーツ奨励賞の受賞件数が減少しました。 <p>【課題及び今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀な成績を収めた人を表彰するため、表彰制度を継続します。
--

4. 平成23年度事務の管理及び執行の点検及び評価における委員からの指摘事項等に対する改善状況

平成24年度は、継続的な改善を図るという趣旨から、平成23年度に実施した事務点検評価（平成22年度の事務事業を対象）において、教育委員会が指摘した事項についても点検・評価を行い、改めて今後の方向性を示しました。

なお、平成22年度事務事業の政策体系の位置付けについては、平成23年2月に策定された青森市新総合計画前期基本計画に掲げた基本政策第4章「歴史と文化を受け継ぎ 未来を創造する人を育むまち」に掲げられた政策体系に整理し直して掲載しております。

【政策第1節 学校教育の充実（1 教育活動の推進）】

【指摘事項】 小・中連携、幼・保・小連携教育に関する事項

指摘事項	小・中連携による学習プログラムの開発及び指導の実践を図ること。
	幼・保・小連携を視野に入れた検討を行うこと。

（1）指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5080029	小・中連携教育課程研究開発事業	指導課	630	450	576	継続

（2）指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (指導課) 冷別	小・中連携による学習プログラムの開発については、研究推進校を指定し、小・中学校9年間における発達の段階を踏まえた系統的な指導と評価の在り方等についての研究を行い、公開発表会での報告や協議を行ってきました。また、平成22年度からは学校課題解決のための小・中連携を推進し、学習指導はもとより生徒指導や特別支援教育など小・中学校と家庭、地域が連携して取組む指導の在り方について研究も進められています。
取組状況 (指導課) 須藤	幼・保・小連携については、平成23年度は、21校の小学校で連携を実施しました。内容は、子ども同士の交流活動が14校、教員同士の研修や交流が11校、新入学生の小1プロブレムを解消し、円滑な学校生活への適応を図るスタートカリキュラムの作成を8校で行いました。今後とも、各小学校に対し、幼・保・小連携の重要性を認識し、小・中連携の充実・推進を図る取組の中に、幼・保・小連携を明確に位置付け、子ども同士の交流や教員同士の交流を活性化させることや、スタートカリキュラムの開発などに取り組むよう指導し、幼・保・小連携を実施する小学校数を増やしていきます。

（3）教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中連携の質的レベルアップを図るため、今までの研究事業の結果から、各小・中学校において取り組む基本的な方針等を周知します。 ・小・中連携について、防災分野など、地域を巻き込んだ連携を進めています。 ・幼・保・小連携を実施する学校数の増加と質的レベルアップを図るため、幼・保・小間や保護者間の情報交換の場の設定について検討します。
--

【指摘事項】 研修講座の充実に関する事項

指摘事項	教職員向け研修講座の一層の充実を図ること。
	外国語活動・国際理解教育において、語学指導員（増員）、国際交流員、留学生の活用を含めた支援体制の充実と学習方法に工夫を加えること。
	不登校児童生徒の保護者への対応として、教員の実践的な指導力向上を図るため、スクールカウンセラーによる研修会や後援等の充実を図ること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5080007	実践指導事例集作成事業	指導課	0	0	0	継続
5080008	学校教育指導方針推進事業	指導課	0	0	0	継続
5080009	学校訪問教育指導事業	指導課	210	200	196	継続
5080032	教育研究所連盟事業（負担金）	指導課	21	21	21	継続
5080034	全国教育研究所連盟研究協議会参加事業	指導課	136	113	172	継続
5080035	教育展望セミナー参加事業	指導課	72	74	74	継続
5080044	市町村指導主事研修事業	指導課	45	40	60	継続
5080047	教職員研修事業	指導課	4,219	3,973	4,034	継続
5080049	外国青年（語学指導員）招致事業	指導課	35,017	52,425	74,532	拡充

(2) 指摘事項に関連する改善状況

取組状況 (指導課)	平成21年度から本市の教育課題に対応できる教職員としての資質・能力の向上を図るため、確かな学力対策講座、小学校生徒指導主任研修講座を新設し、研修講座の充実を図ってきました。平成24年度は、中学校保健体育科実技研修講座を新設し、学習指導要領の全面实施に基づき、中学校保健体育科で必修となった武道のうち、柔道及び剣道について、学習指導要領に示された基本の技を習得するとともに、生徒の安全に配慮した実践的指導力の向上を図ります。
取組状況 (指導課)	平成21年度から語学指導員を増員し、平成23年度は10名で支援体制の充実と学習方法の工夫を図っています。 (1) 小学校外国語活動の指導充実 各学級における外国語活動の授業2時間に1時間程度（年間約18回）訪問し、授業を支援しています。授業では、英語のモデルを示したり、コミュニケーション活動で児童と対話したりするなど、児童のコミュニケーション能力の育成に寄与しています。 (2) 中学校外国語科の指導充実 各学級における外国語科の授業8～12時間に1時間程度訪問し、授業を支援しています。訪問頻度が増したことで、英語のモデルを示したり、生徒と対話するばかりでなく、スピーキングテストや添削指導等の補助も行うことが容易になり、生徒のコミュニケーション能力の向上に寄与しています。平成24年度は、さらに4名を増員することで、授業時数増加に対応し、4～8時間に1回程度に訪問頻度を向上させていきます。
取組状況 (指導課)	平成23年度は、スクールカウンセラーによる校内での研修会や講演会を35回実施し、児童生徒・保護者の不安を軽減したり、実技指導を通して教員の教育相談に関する技能を向上させたりするなど、指導力の向上を図ってきました。

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全県的に教職員の不祥事が続いています。 ・教職員の研修については、中核市となったことにより、本市の本市単独の実施となっておりますが、他市町村の教職員との交流も必要であると考えます。 ・個々の教職員が各キャリアステージにおいて目指す教職員像を示すため、人材育成方針を策定します。 ・人材育成方針を基に、教職員自らスキルアップを図ることができるような研修体系の見直しを実施するとともに、県学校教育センター等が主催する研修の活用を検討します。
--

【指摘事項】「豊かな心」の育成に関する事項

指摘事項	集团的体験活動や読書活動の充実を図ること。
	感情表現を育むため、映画などの鑑賞機会の充実を図ること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5080028	心豊かな子ども読書活動推進事業	指導課	137	137	222	拡充

(2) 指摘事項に関連する改善状況

取組状況 (指導課)	集团的体験活動については、各校では、縦割りによる地域清掃活動やボランティア活動、地域の人々との幅広い交流を通して、豊かな心の育成に努めています。また、読書活動の充実については、青森市学校図書館読書感想文コンクールにおいて、過去最高の3,091点の応募があり、学校図書館の更なる充実を目指し、今年度からは「青森市学校図書館読書感想文コンクール」において、「学校賞」を設け、読書活動が顕著な学校を表彰することとしています。
取組状況 (指導課)	市内小学校6年生を対象に、劇団四季ミュージカルを鑑賞させる機会を提供し、心が通い合う人間性豊かな児童の育成に努めています。平成24年度は、9月11日(火)に劇団四季ミュージカル「ガンバの大冒険」を鑑賞しました。

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞の機会が継続され、また、「青森市学校図書館読書感想文コンクール」において、「学校賞」を設けるなど新たな取組がされています。 ・芸術鑑賞機会の提供を継続していくとともに、読書活動の充実については「青森市子ども読書活動推進計画」に基づき、今後も取り組みます。

【政策第1節 学校教育の充実（2 教育環境の充実）】

【指摘事項】 学校施設の耐震化に関する事項

指摘事項	学校施設の耐震化は、計画的に実施すること。
------	-----------------------

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5005010	小学校改築等移転事務	総務課	2,705	0	6,038	継続
5005013	中学校改築等移転事務	総務課	0	2,360	0	継続
5005028	小学校耐震診断・改修事業	総務課	0	29,695	0	継続
5005030	金沢小学校校舎等改築事業	総務課	0	72,453	731,572	継続
5005031	横内小学校校舎等改築事業	総務課	0	15,614	437,822	継続
5005032	筒井中学校校舎等改築事業	総務課	0	33,489	541,970	継続
5005033	東中学校校舎等改築事業	総務課	0	14,291	1,148,631	継続
5005043	小柳小学校校舎等改築事業	総務課	0	0	10,349	新規

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

区分	基準値(H22)	実績値				
		H23	H24	H25	H26	H27
耐震化率（棟ごと）	67.7%	91.8%	94.2%	**	**	**
耐震化未着手校	11校	4校	2校	**	**	**
取組状況 (総務課)	<p>耐震診断については、西田沢小学校を平成23年度に実施し、全ての小・中学校を終了しました。現在、耐震化事業に着手している学校は、金沢小学校・東中学校の校舎及び横内小学校・筒井中学校の屋内運動場の4校となっています。また、小柳小学校校舎・屋内運動場については、平成24年度に耐力度調査を実施しています。</p> <p>未着手となっている浅虫小学校については通学区域再編に向け、また、西田沢小学校については整備手法等について、現在、保護者等と話し合いを行っています。</p> <p>久栗坂小学校については平成24年度より、浅虫中学校に併置校として設置しています。</p> <p>なお、平成24年4月1日時点の本市小中学校の耐震化率は94.2%となっており、全国公立小中学校耐震化率の平均84.8%及び青森県平均89.5%を上回る進捗率となっており、今後も早期完了に向け取り組んでいくこととしています。</p>					

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <p>・小・中学校耐震化率100%を目指し、対応方針の決定していない学校の保護者との意見交換を引き続き実施し、早期に方針（耐震化の実施又は通学区域の再編等）を決定します。</p>

【指摘事項】 学校給食に関する事項

指摘事項	給食運営は、衛生管理の徹底及び食材の安全性の強化を図ること。
	給食の食べ残しを減らすため、献立の工夫、食材の紹介などの食の重要性を認識させること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5077002	給食費収納対策事務	学校給食課	278	201	237	継続
5077003	給食運営事業（小学校）	学校給食課	839,988	833,319	805,240	継続
5077004	給食運営事業（中学校）	学校給食課	622,248	620,354	617,167	継続
5077005	給食施設維持管理事業（小学校）	学校給食課	99,069	96,892	101,161	継続
5077006	給食施設維持管理事業（中学校）	学校給食課	64,640	64,133	66,286	継続
5077008	小学校給食改善・充実対策事業（負担金）	学校給食課	71	71	71	継続
5077009	中学校給食改善・充実対策事業（負担金）	学校給食課	13	13	13	継続
5077010	小学校給食センター等整備運営事業	学校給食課	21,735	11,850	5,859	継続
5077018	地下タンク改修事業（西部学校給食共同調理場）	学校給食課	0	0	2,268	新規

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (学校給食課)	<p>学校給食の衛生管理の徹底については、平成23年度は給食施設・設備の適正な維持管理を行なうとともに、栄養教諭、学校栄養職員と学校給食調理員を対象として、保健所の衛生管理の専門家を講師として衛生管理をテーマとした研修を年1回、調理員を対象として衛生管理に係る研修を学期毎の年3回実施したこと衛生管理の不備を原因とした学校給食の停止はありませんでした。平成24年度も継続して、給食施設・設備の適正な維持管理及び各研修を実施し衛生管理を徹底します。</p> <p>食材の安全性の強化については、平成23年度は学校給食用物資選定会議により栄養教諭や学校関係者により食材の産地や添加物等の確認により安全な食材の選定を実施し、平成24年度も継続実施することで食材の安全性の確保を図るとともに、学校給食用食材の、より一層の安全性の確保を図るため、平成24年度2学期から青森県学校給食検査設備整備事業により県から放射線検査機器を借受し、学校給食の放射性物質検査を実施しています。</p>
取組状況 (学校給食課)	<p>給食の食べ残しについては、平成23年度は学校給食献立検討会議による給食実施校担当教職員や関係者から和食は洋食に比べ児童生徒から人気がないとの意見もありましたが、学校給食の献立作成に当たっては学校給食法に定める適切な栄養の摂取による健康の保持増進、適切な栄養の摂取や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めることなどを踏まえたうえで、バランスに配慮しながら作成し、「献立のお知らせ」により献立の内容や食材の紹介を行うこと、また、学校の要請に応じ授業における栄養教諭、学校栄養職員を活用した食に関する専門的な指導（小学校中学校35校）を実施し、食の重要性を認識させることに努めています。残渣の量については、食べ残しや欠席者のパンや牛乳を自宅へ持ち帰ることはできないことからゼロとすることはできませんが、平成23年度の1食当たりの平均残渣量は、88gと平成21年度の99gからは減少しているものの、平成22年度の75gからは増加しています。平成24年度は、引き続き献立の作成は給食実施校担当教職員や関係者からの意見を聴きながら実施し、また栄養教諭、学校栄養職員を活用した食に関する専門的な指導（小学校中学校20校実施予定）の実施により食べ残しの減少を図ります。</p>

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食の食べ残しについては、献立の工夫や食の指導にも限界があることから新たな取組の検討が必要です。 食育の充実や給食の食べ残し減少に向け、給食時間の延長について検討します。
--

【指摘区分】授業環境に関する事項

指摘事項	プールのない小学校の水泳授業のため、スイミング支援事業を継続すること。
------	-------------------------------------

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5080046	スイミング支援事業	指導課	2,342	2,363	3,471	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (指導課)	平成23年度、学校プール未設置校等の水泳授業のため、プールまでの交通費を負担した12校、プール使用料を負担した2校、交通費及びプール使用料を負担した1校の合わせて15校（統合された2校を含む）に支援しています。平成24年度は、市民室内プールが改修中のため利用できなくなった4校と自校プールが使えなくなった1校を加え、18校を支援予定であり、引き続き必要校へ支援していきます。
---------------	---

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プールのない学校が水泳の授業を実施していけるよう、引き続き、「スイミング支援事業」により支援していきます。
--

【政策第1節 学校教育の充実（3 就学指導・支援の充実）】

【指摘事項】 障害のある子どもの就学支援に関する事項

指摘事項	適正な就学支援を行うため、保護者の教育的ニーズを把握し、きめ細かな情報提供に努めること。
------	--

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5070019	就学指導委員会事務	指導課	1,218	1,259	6,771	拡充
5070106	特別支援教育奨励費事業	学務課	3,237	3,154	2,489	継続
5070115	特別支援教育支援員配置事業	学務課	20,259	20,261	20,203	継続
5070128	特別支援学級開設事務	学務課	0	0	3,061	新規
5080016	特別支援教育充実対策事業（負担金）	指導課	204	217	231	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (指導課)	平成24年度まで、専門的就学検査員がおらず、短期間に適正な就学先を保護者に提示することができませんでした。平成24年度から市教育研修センター4階に就学指導室を設置し、就学検査員2名を配置しました。このことにより、従来5月と12月に受付していた就学指導を年間を通じて随時受付、随時検査を実施することが可能となりました。また、就学指導委員会の回数を増やすことで、短期間で適正な就学先を保護者に提示し、場合によっては年度途中で通常学級から特別支援学級等への異動も可能となりました。4月には、学校関係者や保護者等を対象とした就学指導に関する説明会を2回実施し、適正な就学についての理解を図りました。保護者の教育的ニーズを把握し、就学先の情報を提供するなど、きめ細かな就学相談を実施しています。
---------------	--

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

【今後の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度から市教育研修センター4階に就学指導室を設置し、就学検査員2名を配置しました。 従来5月と12月に受付していた就学指導を年間を通じて随時受付、随時検査を実施することが可能となりました。 就学指導委員会の年間を通じた就学指導の実施など強化された指導体制により、年間を通じた就学指導に取り組みます。
----------	---

【指摘事項】 不登校児童生徒への対応に関する事項

指摘事項	学校復帰に向けて、学校・関係機関・家庭と連携しながら、事業の充実を図ること。
------	--

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5080022	教育相談適応指導事業	指導課	287	286	287	継続
5080023	スクールカウンセラー配置事業	指導課	0	0	0	継続
5080056	問題を抱える子ども等の自立支援事業	指導課	1,949	1,330	1,154	継続
5070128	特別支援学級開設事務	学務課	0	0	3,061	新規
5080016	特別支援教育充実対策事業（負担金）	指導課	204	217	231	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (指導課)	市教育研修センター相談室において、不登校などの問題を抱える保護者、教職員、幼児児童生徒を対象に教育相談を行うとともに、県の教育相談室や児童相談所との連携を図りながら学校復帰、社会的自立を図っています。また、学校に行きたくても行けない不登校の生徒を対象に、家庭と連携を図りながらカウンセリング、教科指導、集団生活への適応指導などを行い、平成23年度は、16人の生徒が学校復帰・部分登校できました。
---------------	---

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

【成果】	不登校から復帰した児童生徒の割合は、基準値（H21 61.1%）より改善し、順調に増加しています。
【今後の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> 不登校を未然に防ぐためには、学校と家庭との情報交換・連携の強化を図る必要があります。 早期解決（児童生徒の不登校の平均日数の減少）及び再発防止（不登校の再発率の減少）を図るため、国や県の動向を踏まえながら市のパンフレットの配布及び活用を検討するとともに、学校や地域、家庭教育学級などの中で不登校の予防に向けた学習機会を設けていきます。 メールでの相談受付については、システムの構築、個人情報保護の確保、相談体制の充実等を踏まえて検討します。

【政策第2節 社会教育・生涯学習の推進（1 社会教育活動・生涯学習活動の推進）】

【指摘事項】 生涯学習事業に関する事項

指摘事項	生涯学習の目的を確認したうえで、利用者のニーズを反映した魅力ある事業の展開の検討すること。
	女性大学・女性大学院の参加者が減少していることから、寿大学との統合について検討すること。
	こどもチャレンジクラブは、既存の事業を活用した「月毎メニュー方式」などを検討すること。
	「教育メディア利用促進事業」は、促進という役割は終了していると考えるので、事業の再検証を行うこと。

（1）指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5012009	生涯学習支援事業（中央市民センター）	中央市民センター	4,786	4,551	3,432	継続
5012010	プラネタリウム運営事業	中央市民センター	1,393	1,392	1,378	継続
5012011	教育メディア利用促進事業	中央市民センター	0	0	0	継続
5012014	少年少女発明クラブ支援事業（補助金）	中央市民センター	341	341	277	継続
5012016	生涯学習支援事業（地区市民センター）	中央市民センター	6,541	6,584	6,584	継続
5013018	森林博物館企画運営事業	文化財課	1,584	1,584	1,429	継続
5090010	養魚場活動事業	教育課	14	14	14	継続
5090012	山の家活動事業	教育課	184	184	184	継続
5090016	社会教育団体支援事業（補助金）	教育課	1,482	1,482	1,200	継続
5090017	浪岡公民館まつり支援事業（補助金）	教育課	540	540	437	継続

（2）指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (中央市民センター)	<p>生涯学習の目的は、生涯にわたる学習を通して、自らの人生を豊かにし、生きがいのあるものにしていくことです。</p> <p>利用者のニーズを反映した魅力ある事業にするために、寿大学・女性大学は学習日誌、市民スクールはアンケート用紙の回答を集計し、その結果内容を次年度の学習計画及び事業に反映させています。</p> <p>また、はまなす青年教室は最終回の反省会に、次年度の学習計画を皆さんとの話し合いにより作成し、みちのく青年教室は年度末にろうあ協会の方の要望を取り入れ次年度の学習計画を作成し、それぞれ事業に取入れています。絶えずその時代が要求しているテーマを意識し、また、そのテーマで学んだ内容は何かに役立つということを念頭に入れて事業を展開します。</p>
取組状況 (中央市民センター)	<p>民間のカルチャーセンターが乱立している現在、女性大学・女性大学院の在籍者数が、平成21年度3,235人、平成22年度2,913人、平成23年度2,482人と年々減少しており、横内女性大学は在学生2人が寿大学の講義を利用している状況です。今後、女性大学への新入生の推移を見極め、寿大学との統合に関して検討します。</p>
取組状況 (中央市民センター)	<p>「こどもチャレンジクラブ」はクラブ員の減少を理由に平成23年度廃止しました。その代替として、「キッズスクール」を開設しました。事業目的は、様々な生涯学習の講座を提供することにより、子どもたちの自己啓発と豊かな人間形成を図るとともに、自分の興味を探すきっかけとすることです。また、これまで小学校3年生から小学校6年生を対象にクッキング、手芸、トレーニング、いけばな、マジック、ツリーイングと多岐にわたり実施しました。今後、来年の2月まで月2～3回を目途に開催する予定です。</p>
取組状況 (中央市民センター)	<p>市民の多様化、個別化するニーズに応え、多様な教育メディアを効果的に利用し、学習方法の改善、充実を図るため「教育メディア利用促進事業」を実施しています。現在、視聴覚機材等の貸出件数は年々増加傾向にあり、また、16ミリ映写機操作技術講習会においても各市民センターの職員及び一般市民の方が参加していることから、今後も市民のニーズに応えるためには促進事業の終了というのは早すぎると思われます。従いまして、今後、これらに関し検討を行います。</p>

（3）教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性大学（大学院）の見直しや寿大学の統合については、成人に対して提供すべき学習活動の検討に合わせて整理します。 ・「教育メディア利用促進事業」について、需要のある新たな機器（プロジェクタなど）の活用に向けた研修会の開催を検討します。
--

【指摘事項】社会教育事業に関する事項

指摘事項	社会教育の目的を確認したうえで、事業の展開を検討すること。
------	-------------------------------

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5012009	生涯学習支援事業（中央市民センター）	中央市民センター	4,786	4,551	3,432	継続
5012010	プラネタリウム運営事業	中央市民センター	1,393	1,392	1,378	継続
5012011	教育メディア利用促進事業	中央市民センター	0	0	0	継続
5012014	少年少女発明クラブ支援事業（補助金）	中央市民センター	341	341	277	継続
5012016	生涯学習支援事業（地区市民センター）	中央市民センター	6,541	6,584	6,584	継続
5013018	森林博物館企画運営事業	文化財課	1,584	1,584	1,429	継続
5090010	養魚場活動事業	教育課	14	14	14	継続
5090012	山の家活動事業	教育課	184	184	184	継続
5090016	社会教育団体支援事業（補助金）	教育課	1,482	1,482	1,200	継続
5090017	浪岡公民館まつり支援事業（補助金）	教育課	540	540	437	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (社会教育課)	<p>平成23年度には、青森市生涯学習推進委員会において社会教育・生涯学習に関する個別事業の検証を行い、平成24年5月には、『社会教育・生涯学習事業の改善及び再構築に関する提言書』として提出されました。</p> <p>事業担当課においては、社会教育・生涯学習の充実に向け、事務事業の改善等を図るため、青森市生涯学習推進委員会からの提言内容を踏まえ、平成25年度当初予算編成作業の中で、各事業の取組への反映を検討します。</p>
-----------------	---

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育主事等を活用しながら、現代的・社会的な課題等に対応した学習機会の充実に図ります。 ・青森市生涯学習推進委員会からの提言書（平成24年5月）にある意見・提案について、可能な限り事務事業等の取組へ反映させるよう検討します。

【指摘事項】生涯学習の環境づくりに関する事項

指摘事項	淡谷文庫は、市民に活用していただくための環境づくりを検討すること。
	生涯学習支援システムの見直しなど、工夫して活性化を図ること。
	利用者の減少の対策として、利用促進に向けた取組、企画及び開館時間の変更など、参加しやすい環境づくりを検討すること。
	市民センター及び公民館の施設機能の充実を検討すること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事業番号	事務事業 事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5010006	淡谷文庫資料整備事業	社会教育課	0	0	0	継続
5010099	学校施設開放事業	社会教育課	0	0	0	継続
5010100	生涯学習情報提供事業	社会教育課	74	80	65	継続
5010101	生涯学習推進員設置事業	社会教育課	1,620	3,250	3,250	継続
5010102	青森市生涯学習推進委員会設置運営事業	社会教育課	137	325	325	継続
5012002	勤労青少年ホーム運営審議会事業	中央市民センター	79	79	79	継続
5012011	教育メディア利用促進事業	中央市民センター	0	0	0	継続
5090026	耐震診断事業(公民館)	教育課	0	0	3,930	新規
5090028	浪岡中央公民館整備事業	教育課	0	0	57,290	新規
5012007	市民センター管理運営事業(中央市民センター)	中央市民センター	50,796	42,472	62,189	継続
5012008	分館運営管理事業	中央市民センター	4,518	4,286	4,442	継続
5012015	市民センター管理運営事業(地区市民センター)	中央市民センター	239,811	243,149	243,254	継続
5090009	養魚場運営管理事業	教育課	1,199	1,199	1,199	継続
5090011	山の家運営管理事業	教育課	6,446	6,446	6,446	継続
5090013	公民館運営管理事業(浪岡中央公民館・地区公民館)	教育課	47,304	47,304	47,304	継続
5090014	公民館運営管理事業(生涯学習支援事業)	教育課	1,744	1,744	1,744	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の取組状況

取組状況 (社会教育課)	<p>平成23年度は、西部市民センターの淡谷文庫コーナー図書の入替を3回実施したほか、平成23年4月に、平成22年度までに照合作業を終えた約1万8,000点の資料リストを、市内の各市民センターや文化会館など24の公共施設等に配置するとともに、市ホームページで公開しています。</p> <p>平成24年度も、西部市民センターの淡谷文庫コーナー図書の定期的な入替を行うほか、利用者にとって見やすい、活用しやすい資料リストを作成し、公共施設や市ホームページでの公開や、企画展の開催などにより、淡谷文庫資料ができるだけ多くの方々に活用いただけるようPRに努めます。</p>
取組状況 (社会教育課)	<p>学習機会や施設、団体・サークル及び指導者等の各種情報を、様々な媒体を活用し、広く市民に提供しており、特に大幅に減少していた指導者情報については、平成23年度から市民センターへのポスター掲示や既登録者や団体サークルを通じたPR、青森県との指導者情報の共有化により、提供する情報の充実に取り組んでいます。</p> <p>また、市民の学習活動に対する助言・指導などを行う生涯学習推進員を中央市民センターに配置していますが、平成23年度からは市民サロンでの団体・サークルPRコーナー及び臨時相談コーナーの開設など、市民の学習活動を支援する環境の充実に取り組んでいます。</p>
取組状況 (中央市民センター)	<p>平成23年度は、新たな受講者層発掘のために、夜間・土日休日に市民スクールを開催したり、例年冬場は利用者数が減少するので、2月に「中央市民センターにおいでよ」という親子で参加できるイベントを開催し好評でしたので、平成24年度も、引き続き実施していきます。また、耐震補強工事後の10月には、子ども・母親・中高年向けのイベントや講座を開催します。</p> <p>子どもの講座では、平成23年度までは、9サークル・6か月間の講座でしたが、平成24年度から単発や5回シリーズにし、その都度、参加者を募集したことにより、参加者の幅も広がり、メニューも「ツリーイング」「いけばな」「歴史探訪」など今まで開催したことのない講座なども実施しています。参加者数だけでなく、子ども・保護者からの感想なども参考にし、来年度の計画を考えていきます。</p>
取組状況 (教育課)	<p>浪岡中央公民館、地区公民館(北中野、本郷、野沢、女鹿沢、大杉)において高齢者講座、趣味講座、青少年講座などの事業を実施しています。また、各公民館において、公民館まつりも行っていますが、地域人口の減少と特に女鹿沢公民館において行われていた一輪車教室事業が指導者の不在により廃止となったことにより、大幅な利用者の減少も見られます。これに変わる青少年の新しい講座を企画する等、積極的にPRしているところです。</p> <p>今後は講座等の参加者の要望を反映させ、これまで好評であった講座の開催等、企画内容の見直しを積極的に行い、地域住民の生涯学習への振興を図っていきます。</p>

<p>取組状況 (中央市民センター)</p>	<p>平成24年度、中央市民センターは、耐震補強・消防設備・プラネタリウムの音響工事等を実施することとしています。また、岩渡分館・細越分館では耐震診断を実施し、公共施設の整備や配置の検討を進めます。</p> <p>今後は、中央・各市民センターともに建築年数を経ている建物が多いため、安全を第一に、優先順位をつけながら施設の維持に努め、高齢者の利用も多いことから「バリアフリー」の観点での施設の修繕も検討します。</p>
<p>取組状況 (教育課)</p>	<p>浪岡中央公民館は、築32年を経過し、施設全体の老朽化、バリアフリー化がされていないなど、多くの改善要望が出されていました。平成23年度、浪岡庁舎周辺整備事業の中で、新たな場所に建設されることになり、平成24年度は基本・実施設計を行い、自治区協議会、関係団体等の意見交換会、さらに住民説明会を開催して、浪岡中央公民館、多目的ホール、克雪館を一体的に活用できるように整備して参ります。建設は平成25年度から平成26年度にかけて実施する計画です。</p>

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果 (総合評価)

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淡谷文庫資料については、多くの方々に活用いただけるようPRに努めます。 ・生涯学習情報や講座についても充実に努めます。 ・老朽化してきている市民センター及び公民館について、適切な維持管理に努めるとともに、バリアフリー化についても検討します。

【指摘事項】 市民図書館に関する事項

指摘事項	利用者の減少の対策として、利用促進に向けた取組、企画及び開館時間の変更など、参加しやすい環境づくりを検討すること。
	図書館協議会は、図書館・学校・地域が一体となった一層広い視点で協議していくことが求められることから、形式的な会議にならないよう留意すること。
	市民図書館の施設機能の充実を検討すること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5055003	図書資料整備事業	市民図書館	40,085	40,122	36,921	継続
5055008	読書活動推進事業	市民図書館	219	2,129	711	拡充
5055012	館外貸出運営事業	市民図書館	259	222	1,182	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の取組状況

取組状況 (市民図書館)	<p>市民図書館では、市民に図書館や読書に関心を持ってもらい、より多くの方に来館していただくために、季節にちなんだブックフェアや子ども向けのお話会の実施など様々な事業を実施していますが、今後は対象年齢を拡大したお話会の実施や、あらゆる機会を通じての情報発信の工夫など図書館利用の促進に向けて取り組めます。</p> <p>また、開館時間の拡大については、施設管理費及び人件費等の増加やカウンター業務並びに事業展開を見据えた職員体制の再編成など、様々な課題があることから、平成23年度に引き続き試行期間と位置付けて、小・中学校が長期休業となり「自主学习」を目的とする入館者が多い8月と1月は、午前9時からの開館としています。</p> <p>さらに、図書資料の収集についても、「利用者の声」などのアンケート調査や、購入図書の「リクエスト」による要望も取り入れながら、多分野にわたって図書資料の収集に努めており、今後もより適切な資料収集を行うなど、様々な取組により利用者増に向けた環境づくりに努めます。</p>
取組状況 (市民図書館)	<p>市民図書館では、地域の読書活動の推進を図るための取組として、各市民センター等への定期的な配本と蔵書の入替、市内35ヶ所の移動図書館車による巡回、学校での読書活動推進を図るための調べ学習や読書啓発の授業支援など、図書館・学校・地域が一体となった取組を行っており、図書館協議会の委員の意見を参考にしながら図書館事業の適宜見直しを行っています。</p> <p>平成23年度は、蔵書点検の時期について受験の影響の少ない時期に実施するべきとの御意見をいただき、これまで2月中旬に実施していたものを2月の初旬に改めました。また、移動図書館車運行など図書館事業についてもさらに広く周知するべきとの御意見をいただき、平成24年度からは、広報あおもりへの掲載回数を増やし、また、新たに放課後児童会へ情報提供することなど、事業の周知活動に努めています。</p> <p>今後も、各市民センター・浪岡中央公民館と近隣の学校や地域の方々との連携・協力により、さらに読書活動の推進に向けた取組の充実を目指していくこととしています。また、図書館協議会委員から幅広い視点での御意見を伺い、形式的な会議とならないよう努めます。</p>
取組状況 (市民図書館)	<p>市民図書館では各市民センターと浪岡中央公民館に設置した配本所を拠点とし、それに移動図書館サービスを付加した図書館サービス網を構築し地域の皆様への図書館サービスの強化をしており、平成23年度には、各市民センターと浪岡中央公民館に利用者検索端末を設置し、平成24年度からは、市民の皆様が利用しやすいよう予約本を希望する市民センター等で受取ることのできるサービスを開始しています。</p> <p>また、小学校の教科書に紹介されている本を全ての市民センターと浪岡中央公民館に揃え、学習拠点としての機能強化も進めており、平成24年度からは、学校図書館の電算システムと連携した学校支援機能を強化していくこととしています。</p>

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の調べ学習や読書活動を支援するため、図書館管理システムと学校図書館とのネットワーク化を図り、児童生徒の読書環境の充実を図ります。 ・「青森市子ども読書活動推進計画」に基づき、児童生徒の読書環境の充実に努めます。

【政策第2節 社会教育・生涯学習の推進（2 青少年の健全育成）】

【指摘事項】 青少年の健全育成に関する事項

指摘事項	青少年の健全育成するため、リーダーやボランティア（子ども会を含む）に対し、学習機会の提供や要望への対応など、充実を図ること。
	青少年の健全育成に当たっては、担当課、県、関係機関と連携を強化し、官民一体となった事業の充実を図ること。
	少年指導・育成に当たって、若い指導者及びリーダーの育成を図ること。

（1）指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5010027	青森市子ども会育成振興事業（補助金）	社会教育課	728	728	728	継続
5010040	命を大切に作る心を育む県民運動事業	社会教育課	0	0	0	継続
5010083	青森市青少年育成市民会議運営事業（補助金）	社会教育課	189	189	171	継続
5010104	家庭教育支援事業	社会教育課	1,400	2,190	2,032	継続
5080017	心のふれ合い運動推進事業	指導課	0	0	0	継続
5080018	学校支援協議会事務	指導課	73	85	80	継続
5080026	少年指導・育成事業	指導課	2,549	2,398	2,309	継続
5080045	安全対策事業	指導課	24	22	22	継続

（2）指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (社会教育課)	子ども会に対しては、市内の子ども会で組織される「青森市子ども会育成連絡協議会」が行う中高生リーダーや指導者研修等、子ども会の育成・振興に係る事業に対し財政的支援(補助金交付)を行っており、平成24年度も継続して支援しています。 また、青少年の健全育成に取り組む地域組織として、個人・町会・関係団体で構成される「青少年育成青森市民会議」の会員で、地域活動している方々に対しては、青少年育成青森県市民会議主催の大会・フォーラム等の開催を周知し、参加を促すことによる学習機会の提供や地域要望への対応に努めており、平成24年度もその取組を継続して行っています。
取組状況 (社会教育課)	子どもたちを非行や犯罪・事故から守るため、教職員・保護者・地域住民が連携しての学区内巡回指導や少年指導委員による街頭指導、県青少年健全育成推進員による町会・関係団体等への働きかけや命を大切に作る心を育む声かけリーダーによる声かけのほか、少年非行防止JUMPチームにより子どもたち自らが非行防止を呼びかけるなど、関係機関と連絡調整を図りながら、学校・家庭・地域が連携し、官民一体となった取組を行っており、平成24年度も、これまでの取組を継続していきます。
取組状況 (指導課)	心のふれ合い運動では、学校と保護者、地域が一緒になり学区内を中心とした街頭指導活動を行っています。 青森市教育委員会少年指導委員の構成メンバーは、関係学校の教育職員、民間の有識者、関係行政機関の職員等であり、繁華街や子ども達が集まりそうな場所を中心とした、官民一体となった街頭指導活動を行っています。また、店舗側から子ども達に関する情報収集を行うとともに、店舗等に青少年の健全育成に関わる啓発活動を行っています。知り得た情報については、関係学校や関係機関に情報提供しています。 安全対策事業では、学校と保護者だけではなく、地域のボランティアの協力を得て、子ども達の登下校時の安全確保、見守りに努めています。今後、さらに官民一体となった活動が出来るよう意識して進めます。
取組状況 (指導課)	青森市教育委員会少年指導委員は、毎年、新人を補充し若返りを図っています。また、年3回の研修会を行い、少年非行防止活動を効果的に推進するために必要な、少年指導に関わる知識・技能の向上、及びリーダーの育成を図っています。 今後、さらに若い指導者及びリーダーの育成を図ることを念頭に置き、計画・実践を積み重ねていきます。

（3）教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の数は減少傾向にあります。 ・社会教育委員等を活用し、青少年団体の健全育成を図る場を含め青少年団体の育成に向けた方策について検討します。
--

【指摘事項】家庭教育する事項

指摘事項	家庭での教育力を向上させるため学校と家庭の連携を深める取組をすること。
------	-------------------------------------

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5010104	家庭教育支援事業	社会教育課	1,400	2,190	2,032	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (社会教育課)	<p>家庭教育支援事業は、各学校単位で保護者や地域の方が家庭教育に関して学び、共に考える機会を提供する「家庭教育学級」を、平成23年度は、60校で162回実施しました。</p> <p>また、平成23年度からは、勤労青少年ホーム内に、青森市子育てサポートセンターを設置し、各学校における事業実施をサポートするとともに、情報紙「青森市子育てサポートセンター通信」による家庭教育に関する情報発信、市民の相談対応を行うなど、家庭教育を支援する環境を整えています。</p>
-----------------	---

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級において、諸問題などをテーマとした多岐にわたるメニューなどを取り入れるなど、講座内容の充実を図る必要があります。 ・家庭及び学校のニーズを把握・分析し、講座の内容の充実を図ります。
--

【指摘事項】国際交流に関する事項

指摘事項	<p>児童・生徒の国際交流については、継続的に実施すること。</p> <p>ケチケメート市との作品交流が困難であれば、新しい相手方の検討すること。</p>
------	---

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5010029	大井基金活用事業（少年海外生活体験事業）	社会教育課	3,249	0	3,783	継続
5080012	友好交流推進事業	指導課	26	26	26	継続
5090003	青森市中学校生徒海外派遣・受入事業	教育課	5,153	4,753	5,141	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (社会教育課)	<p>中学校生徒の国際交流については、大韓民国平澤市やアメリカ合州国メイン州との相互訪問による交流を行っています。</p> <p>大韓民国平澤市との交流は、市内の全中学校から推薦された中学2・3年生を研修生とし、隔年度で実施しており、平成24年度は、7月27日から31日までで平澤市訪問を、8月1日から5日までで本市受入を行いました。</p> <p>アメリカ合州国メイン州との交流は、本市浪岡中学校とメイン州グリーリー中学校との姉妹校交流として毎年度実施しており、平成24年度は、7月28日から8月8日まで本市で受入を行っており、冬季休業時にはメイン州訪問を行う予定としています。</p> <p>国際交流について、本市生徒の国際理解とコミュニケーション能力の育成を図るため、継続して実施していきます。</p>
取組状況 (指導課)	<p>ハンガリー国ケチケメート市との小・中学校の絵画や版画などの作品交流について、平成23年度は、ケチケメート市に作品交流の意思があることを確認したことから、本市から作品を送付しましたが、ケチケメート市からは送られてきていない状況にあります。</p> <p>平成24年度については、ケチケメート市で交流継続の意思を示していることから、本市からは作品を送付することとしています。</p>

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森地区、浪岡地区で実施している交流事業について、地域に密着した事業として実施するのではなく、市として公平な制度の構築が必要です。 ・交流事業の公平性を確保するため浪岡地区の生徒のみを対象としているメイン州との交流事業について見直しを含め検討します。

【政策第3節 文化 芸術の推進 (1 文化 芸術活動の推進)】

【指摘事項】文化芸術活動に関する事項

指摘事項	文化芸術活動に触れる機会を増やすため、積極的な広報活動と内容の工夫を図ること。
	文化芸術活動振興基金活用事業（文化芸術活動に対する助成や表彰）の制度について、周知すること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事業番号	事務事業	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
	事務事業名					
5011004	青森市文化芸術活動振興基金活用事業	文化スポーツ振興課	1,100	1,100	1,000	縮小
5011005	文化事業後援事業	文化スポーツ振興課	91	91	0	縮小
5011006	文化賞表彰事業	文化スポーツ振興課	146	110	106	継続
5011007	文化振興施設運営管理事業（文化振興事業）	文化スポーツ振興課	23,137	23,137	23,137	継続
5011015	青森市中学校文化連盟活動事業（補助金）	文化スポーツ振興課	182	174	173	継続
5011018	大井基金活用事業（小中学生音楽活動促進事業）	文化スポーツ振興課	0	0	412	新規
5011020	青森市小中学生文化大会等出場助成事業（補助金）	文化スポーツ振興課	0	0	2,573	新規
5090004	小学生芸術鑑賞教室事業	教育課	1,370	1,370	1,279	継続
5090006	中世の館運営管理事業（文化振興事業）	教育課	727	727	727	継続
5090008	浪岡舞台演劇公演支援事業（補助金）	教育課	270	270	243	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (文化スポーツ振興課・教育課)	今年度から、小中学校の吹奏楽部等がまちなかで演奏を披露する小中学生音楽活動促進事業（キッズコンサート）をワ・ラッセ西側の広場や八甲田丸で開催し、多くの方々に来場いただきました。また、指定管理者の自主事業である宝塚公演などの事業においては、マスメディアへの広告はもちろんのこと、指定管理者と協力し合い、広報あおりや市政記者会等を通して、積極的に情報を発信しています。 浪岡地区では小学生芸術鑑賞教室として、普段触れる機会が少ない演劇・音楽鑑賞を全小学校児童を対象に年1回行っています。
取組状況 (文化スポーツ振興課)	本市の文化芸術振興に寄与すると考えられる事業を行う市民に対し、10万円以内の助成金を交付する事業（青森市文化芸術活動振興基金活用事業）について、平成23年度までは、7月以降に行われる事業を対象に、助成金の交付を行ってきたが、平成24年度からは、4月以降1年間で行われる事業を対象として助成することとし、その対象範囲を広げました。このことについては、4月に広報あおりで情報発信するとともに、青森市文化団体協議会総会での周知や社会教育施設への広報により周知に努めました。なお、同事業の一つである表彰制度については、事業効果が低いことから、平成23年度末に廃止しました。

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

【今後の方向性】 ・文化芸術活動に対する助成金の交付申請件数の増加を図るため、交付申請に関する周知方法の見直しを検討します。

【指摘事項】文化施設の環境づくりに関する事項

指摘事項	文化施設がより活用されるため、指定管理者、市の関係部署と連携した広報活動や、施設機能の強化を図ること。
	リンクステーションホール青森（文化会館）及び市民ホールの駐車場の利用促進のため、施設利用者以外へのPRや利用しやすい環境整備を検討すること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事業番号	事務事業名	担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
5011007	文化振興施設運営管理事業（文化振興事業）	文化スポーツ振興課	23,137	23,137	23,137	継続
5011008	文化振興施設運営管理事業（文化施設管理）	文化スポーツ振興課	367,226	361,051	372,894	継続
5011009	文化施設駐車場運営管理事務	文化スポーツ振興課	8,908	8,973	8,991	継続
5090005	中世の館運営管理事業（施設管理運営事業）	教育課	26,876	26,956	26,583	継続
5090006	中世の館運営管理事業（文化振興事業）	教育課	727	727	727	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 （文化スポーツ振興課・教育課）	<p>平成23年度は、各文化施設の指定管理者と協力し、施設紹介や自主事業を、市及び指定管理者のHP、広報あおもりや市政記者会を通じて周知しました。また、施設の更なる有効活用を図るため、文化会館に展示室を設置しました。今年度も引き続き様々な手段による広報活動を行うとともに、指定管理者と連携しながら、事業ごとに実施しているアンケートも踏まえ、市民ニーズを反映した事業を工夫したり、施設を有効活用する企画（市民ホールギャラリーで淡谷のり子展を開催）をするなど、活用例を示しながら多方向から施設をPRしていきます。</p> <p>浪岡地区では、施設の指定管理者が、平成21年度に独自のホームページを開設し、広報あおもり等での事業の周知に努めています。今年度は、民間のノウハウを活かした広報活動（マスコミ関係への働きかけ）による施設のPRを図っていきます。</p>
取組状況 （文化スポーツ振興課）	<p>これまで、ホームページを活用した周知を行ってきたことに加え、近隣の駐車場管理者やホテル等へ周知し、利用促進を図っています。今後は、駐車場利用者に対し、回数券（10時間分の料金で11時間利用可能）についての周知を図り、継続利用による利用数の増加に努めます。</p>

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携を図りながら、引き続き文化施設の環境の充実に努めます。

【政策第3節 文化 芸術の推進 (2 郷土の文化資産の活用 継承)】

【指摘事項】 版画に関する事項

指摘事項	版画をさらに進化・発展させ、全国的に発信すること。
	市民や中・高校への版画の浸透が今ひとつであることから、目標を改めて検討すること。
	版画コンクールや小・中・高校生を対象とした版画展の開催など、活動発表機会を提供し、若い世代が関心を持つ環境づくりを検討すること。
	国際版画トリエンナーレは、応募数・観客数が減少していることから、開催時期、開催場所の検討すること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5011003	版画の街・あおもり開催事業(負担金)	文化スポーツ振興課	382	382	344	継続
5011014	大井基金活用事業(棟方志功賞版画展開催事業)	文化スポーツ振興課	855	845	850	継続
5011019	大井基金活用事業(中学生木版画講座)	文化スポーツ振興課	0	0	313	新規

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (文化スポーツ振興課)	版画の街・あおもり実行委員会において、来年度観光客向けの版画ワークショップ開催を検討しており、教育委員会としても、版画の街・あおもり実行委員会を側面から支援していく予定です。
取組状況 (文化スポーツ振興課)	今年度から開催する中学生木版画講座や、版画の街・あおもり実行委員会と連携して開催する親子向けの体験ワークショップや高校生向けのワークショップにより、小学校卒業以降の版画活動・製作の浸透に努めていきます。 今年度で25回目を迎える市内小中高生及び特別支援学校を対象とした、棟方志功賞版画展を継続開催するとともに、上述の講座・ワークショップで制作した作品並びに制作過程を記録した写真について棟方志功賞版画展の中でパネル展示するなど、作品発表・情報発信できるよう検討しています。特に中高生の応募が少ないため、今回のような講座やワークショップ開催・開催状況について各学校へも情報発信しながら、中・高校生への版画の浸透を図り、来年度以降の積極的な応募を呼びかけていきます。
取組状況 (文化スポーツ振興課)	同上
取組状況 (文化スポーツ振興課)	国際版画トリエンナーレについては、「アートで音楽のあるまちづくりの方針」策定に向けて、アート、音楽、まちづくりの分野の方々約30名から、トリエンナーレの実施の是非や継続する場合の事業展開についての意見もいただきながら、来年度のあり方について検討を行っている。

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

【今後の方向性】 ・版画文化の定着を図るため、関係機関と連携した版画振興策の取組を整理・検討します。

【指摘事項】 P T A 連合会ねぶた運行する事項

指摘事項	次世代を担う小・中学生のねぶた体験の場を確保するため、支援する必要がある。
------	---------------------------------------

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5010011	青森市PTA連合会ねぶた運行補助事業	社会教育課	4,442	4,442	4,442	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (社会教育課)	<p>伝統ある郷土の文化遺産の継承を図り、次代を担う青森市の子どもたちの郷土愛を育むことを目的に、市PTA連合会のねぶた運行事業について、平成3年から補助金を交付し、支援しています。</p> <p>また、ねぶたの運行に当たっては、市PTA連合会と教育委員会が連携し、参加する児童生徒の安全管理に取り組んでいます。</p>
-----------------	--

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果 (総合評価)

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森市 P T A 連合会ねぶたに対し、引き続き支援していきます。
--

【政策第3節 文化 芸術の推進 (3 文化財の保存・発信)】

【指摘事項】 遺跡の整備・活用に関する事項

指摘事項	史跡の整備について、早期完成に向け一層推進していくこと。
	縄文遺跡郡の世界遺産登録を目指し、市民等に一層のPRを図ること。
	縄文シティサミットへ参加することで、PR等に努め、魅力ある情報発信を継続すること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5013009	小牧野遺跡整備事業	文化財課	13,838	20,023	24,999	継続
5013012	史跡見学者対策事業	文化財課	1,509	1,509	1,472	継続
5013013	高屋敷館遺跡環境整備事業	文化財課	7,370	8,452	10,199	継続
5013023	浪岡城跡新館公有化事業	文化財課	135,256	55,286	88,945	継続
5013031	世界遺産登録推進事業	文化財課	2,020	2,344	2,452	継続
5013032	浪岡城跡保存修理事業	文化財課	3,870	3,720	3,348	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (文化財課)	市が所管する各史跡は、国庫補助を受けながら順次整備を進めています。小牧野遺跡では、平成27年度に史跡公園としての供用開始を目指し、保護盛土等の整備のほか、史跡に隣接した管理棟の設計業務等を進めています。また、浪岡城跡の公有化については、当初平成29年度を終了予定としていたものを、平成27年度へ前倒しし、公有化終了後に順次、保護盛土を計画的に実施してきています。高屋敷館遺跡は、平成23年度までに保護盛土をほぼ終えており、今後は史跡の主要部である壕と土塁の表示等の整備を実施することとしています。
取組状況 (文化財課)	縄文遺跡群の世界遺産登録及び小牧野遺跡の保護・活用についてPRを図るため、世界遺産ツアーや市民参加型整備として「どんぐりの森づくり」などを実施しました。平成24年度からは、新たに市民による小牧野遺跡ボランティアサポーターとともに、遺跡の環境整備等を実施する計画をしています。また、世界遺産登録にあたって必要な条件となっている「遺跡を効果的に保護する区域の設定」等の内容を盛り込んだ、「(仮称)青森市小牧野遺跡の保護に関する条例」制定に向けて、「わたしの意見提案制度」を活用する旨を含め、広報やホームページによる世界遺産登録の周知を図ります。
取組状況 (文化財課)	縄文シティサミットは、縄文遺跡を有する都市が、縄文の心や文化観等の共有物をまちづくりに活用することを目的としていることから、平成23年度はサミットの場において、本市が所管する国の史跡、特に小牧野遺跡における、縄文時代の景観や植生の復元を目指した市民参加型ワークショップの実施などについて報告しました。平成24年度も引き続き、世界遺産登録に向けた取組をはじめ、縄文を活かした本市のまちづくりのPR等を実施していきます。

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果 (総合評価)

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡・遺跡の訪問者数の増加を図るため、引き続き、現在の取組を継続します。 ・現在、整備中の遺跡について、これまでの歴史や経緯など理解を図るための解説板等の設置を検討します。
--

【指摘事項】文化財に関する学習機会に関する事項

指摘事項	本市の文化財等について、学校、家庭教育学級、市民センターの講座等で、学習機会の充実を図ること。
------	---

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
該当事業なし						

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (文化財課)	毎年、実施している寿・女性大学等の出前講座について、テーマや開催場所を変えながら文化財について広く学習できる機会の充実を図っていきます。また、出前展示を実施している学校数は増加しており、より一層のPRを行うことで更なる充実を図っていきます。
----------------	--

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

【今後の方向性】 ・文化財等に関する講座については、わかりやすい説明とするなど講座内容の充実に努めるとともに、学校等での学習活動の中で文化財資料を広く活用していただくため、出前展示や出前講座(授業)の一層のPRを行い、学習機会の充実を図ります。	
---	--

【指摘事項】伝統文化の保存・継承に関する事項

指摘事項	伝統文化の保存・継承のため、後継者育成、活動の場の提供及び団体に対する支援について検討すること。
------	--

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5013033	伝統芸能保存事業	文化財課	0	154	120	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (文化財課)	平成23年度において、市内の民俗芸能保存団体(獅子踊等10団体)のうち5団体に対し、伝統芸能の素晴らしさや次世代への継承の必要性を実感できるような活動の場を提供しています。 平成24年度は、6月に各団体の活動等の予定をアンケート調査し、活動予定をまとめましたので、それを踏まえて市内のイベントや他団体等との合同開催による発表会への出演を依頼し、発表の場を提供していきます。また、引き続き民間の活動補助事業の調査と紹介を行っていくこととしています。
----------------	--

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

【今後の方向性】 ・伝統文化の保存・継承のため、民俗芸能保存団体の活動状況や新たに活動を始めた団体等を調査し把握に努めます。 ・民俗芸能保存団体等に対して、市内でのイベント情報など団体が活動できる場の情報提供を行い、引き続き活動に対する費用の一部を支援します。	
--	--

【政策第4節 スポーツ・レクリエーションの推進（1 スポーツ・レクリエーション活動の推進）】

【指摘事項】総合型スポーツクラブに関する事項

指摘事項	地域でのスポーツクラブの育成について検討すること。
	学校の部活動の指導について、保護者、地域住民の協力や各種団体組織的との連携により、部活動からスポーツ少年団へ、スポーツ少年団から社会体育への移行を検討すること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5011062	青森市スポーツ少年団本部活動事業（補助金）	文化スポーツ振興課	124	124	124	継続
5011063	スポーツ推進計画策定事務	文化スポーツ振興課	348	261	261	継続
5011064	青森市スポーツ少年団事務局運営事業	文化スポーツ振興課	0	0	0	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (文化スポーツ振興課)	平成24年3月30日に策定された国の「スポーツ基本計画」において、地域スポーツの担い手として「地域スポーツクラブ」の重要性が掲げられており、その中で地域スポーツクラブの育成支援については主として国の担いとされ、地方公共団体には主に地域スポーツクラブとの連携促進による活動支援が求められていることから、今年度中に策定予定の「（仮称）青森市スポーツ推進計画」の中でその具体的な取組方を盛り込む方向で現在検討しています。
取組状況 (文化スポーツ振興課)	学校部活動については、児童生徒の健全育成が主目的であるとともに、正しい競技指導ができる指導者の育成・確保が重要であり、中学生の部活動については、新学習指導要領において位置づけがなされたことを踏まえ、指導者の研修等により質的向上に努めています。 一方、小学生のクラブ活動の指導をスポーツ少年団で担うためには、地域内で平日に活動可能な指導者を相当数確保する必要があり、現状では実施が困難な状況にありますが、今後は各競技団体と連携し学校ニーズを適宜情報提供するとともに必要に応じて両者間の調整を行うなど、学校体育の場においても専門的な指導が受けられる機会の拡充に取り組んでいきます。 また、平成24年度からは、有資格指導者認定講習会の受講料3,000円を市スポーツ少年団で全額負担し、指導者資格をより取得しやすい環境整備を図ることとしています。

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

【今後の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> 部活動のスポーツ少年団や社会体育への移行は、部活動として実施する場合の教育的効果を考慮の上、移行の検討を行い、「（仮称）青森市スポーツ推進計画」へ盛り込むことが必要です。 今後、策定予定の「（仮称）青森市スポーツ推進計画」の中で、部活動について、スポーツ少年団など社会体育団体へ移行の必要性や対応策について検討します。
----------	--

【指摘事項】施設的环境づくりに関する事項

指摘事項	勤労者プールのあり方について、費用対効果の観点から検討すること。
------	----------------------------------

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5012004	勤労者プール運営管理事業	中央市民センター	4,075	2,787	4,008	継続

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (中央市民センター)	平成23年度勤労者プールの維持管理費は、プールサイド改良工事も含めて10,826千円、料金収入266千円、利用者7,022人となっており、1,500円/人となります。プールが老朽化しているため、今後も、ろ材交換1,200千円、塩素注入器350千円、プールクリーナー交換560千円と改修費が必要なばかりか益々維持修繕費がかさむことが想定されるため、費用対効果を考慮すれば、施設を存続させるには厳しい状況にあり、今後、利用動向も勘案し、存続の必要性について検討します。
--------------------	--

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果（総合評価）

【今後の方向性】	勤労者プールの存続については、市民ニーズやスポーツ施設としての必要性などを考慮した上で検討する必要があることから、勤労者プールの施設の状況も見ながら、引き続き施設のあり方について検討します。
----------	---

【政策第4節 スポーツ・レクリエーションの推進(2 ウィンタースポーツの推進)】

【指摘事項】 カーリングに関する事項

指摘事項	競技人口増加のため、各小・中学校への周知を強化すること。
------	------------------------------

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
事業番号	事務事業名					
5011061	小・中学生カーリング普及事業	文化スポーツ振興課	80	80	80	継続
5011066	全国高等学校カーリング選手権大会開催事業	文化スポーツ振興課	5,360	5,360	4,616	継続
5011073	青森市中学校体育大会冬季大会開催事業(負担金)	文化スポーツ振興課	50	50	0	縮小

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (文化スポーツ振興課)	カーリングチャレンジカップの開催に当たっては、市内全ての小・中学校に対して直接、開催案内及びチーム募集を行うとともに、市HP及び小・中学校長会においても大会の周知、PRに努めていきます。
---------------------	---

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カーリングの街・青森」を掲げていることも踏まえ、事業展開の拡充が必要です。 ・今後、策定予定の「(仮称)青森市スポーツ推進計画」の中で、「カーリングの街・青森」の実現に向けた振興方策を検討することとし、事業展開の拡充(カーリング場の開設期間の延長の検討、高い競技レベルの大会誘致、積極的な情報発信等)を図ります。

【政策第4節 スポーツ・レクリエーションの推進(3 競技力の向上)】

【指摘事項】 競技水準の向上に関する事項

指摘事項	スポーツへの夢と関心を膨らませるような支援の工夫を図ること。
	県外から指導者を招請するなど、指導力の向上と充実を図ること。

(1) 指摘事項に関連する事務事業

事業番号	事務事業		担当課	H22年度 予算額	H23年度 予算額	H24年度 予算額	事業 区分
	事務事業名						
5011054	青森市体育・スポーツ競技団体育成強化事業(補助金)		文化スポーツ振興課	4,561	4,214	6,722	継続
5011058	スポーツ推進委員設置事業		文化スポーツ振興課	2,296	2,296	2,296	継続
5011059	カブ・バンビ卓球大会開催事業		文化スポーツ振興課	139	139	139	継続
5011065	県民体育大会参加事業(負担金)		文化スポーツ振興課	100	3,768	100	継続
5011069	スポーツ賞表彰事業		文化スポーツ振興課	733	544	597	継続
5011070	青森県スポーツ推進委員協議会事業(負担金)		文化スポーツ振興課	15	15	15	継続
5011071	小学校体育デー開催事業(負担金)		文化スポーツ振興課	100	100	100	継続
5011072	青森市中学校体育大会夏季大会開催事業(負担金)		文化スポーツ振興課	250	250	250	継続
5011074	中学校体育大会選手派遣事業(補助金)		文化スポーツ振興課	8,796	6,864	2,936	縮小
5011075	中学校体育大会開催事業(補助金)		文化スポーツ振興課	50	0	1,100	継続
5011076	高等学校全国大会選手派遣事業(補助金)		文化スポーツ振興課	0	0	3,400	縮小

(2) 指摘事項に関連する教育委員会事務局の改善状況

取組状況 (文化スポーツ振興課)	上記事務事業に加え、高い競技レベルを観戦する機会の提供がスポーツへの夢と関心を膨らませる上で非常に有効であるとの認識の下、これまでカーリング競技に関する国際大会や全国大会などの開催誘致に取り組んできたほか、平成24年度は全国規模の卓球大会や大学ラグビー強豪校の親善試合に対する後援等により、市民にハイレベルな競技を観戦する機会の提供に努めてきました。また、平成25年度からはプロバスケットボールリーグである「bjリーグ」に青森県を本拠地とするチームの参戦が正式決定されたことから、今後は当該チームとの連携により、プロバスケットボールリーグの試合を毎年本市で観戦できる機会の提供が期待されます。
取組状況 (文化スポーツ振興課)	県外からの指導者招請については、財政的及び公平性の観点(特定競技に限定する場合)から現時点でこれを行うことは困難な状況にあるため、引き続きスポーツ推進委員等に対する指導者研修への参加支援により指導力の向上に取り組むほか、各競技団体と学校体育との連携等により、スポーツ指導者がこれまで以上に積極活用される環境の整備に努めていきます。

(3) 教育委員会の点検及び評価の結果(総合評価)

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツのレベル向上のため、各競技団体や学校体育との連携を図るなど、中長期的な取組の検討が必要です。 ・今後、策定予定の「(仮称)青森市スポーツ推進計画」において、各競技団体等や学校体育との連携など、中長期的な取組を検討します。
--

5 . 学識経験者の意見（総評）

内 海 隆 （青森公立大学経営経済学部教授）

総評にあたり、まず政策第1節から第4節までの点検評価対象となる56事業に関する教育委員会の点検及び評価が「課題及び今後の方向性」の具体的な提示などを含めて、きわめて妥当性と信頼性の高い内容であることを指摘したい。

以下、大きく2つの点についてと個別具体的なコメントをさせていただきたい。

教育活動の充実には、特に学校への信頼が何よりも重要であり、教育委員会がその本旨である学校訪問や教職員に対する研修講座を通じた指導・助言により、学習状況に関して目標指標に対して着実な成果を上げていることは評価できる。今後もさらなる学校運営、青森市の特色ある教育の充実を目指して、教職員の資質の向上やメンタル・ヘルスに関する研修講座等、中核市の利点を生かした独自の研修機会や県も含めた他の関連機関との連携などに積極的に取り組まれることを期待している。また、教育は人間の間柄の行為であるので、何よりも人材が重要である。その意味で青森市が「人材育成方針」策定を掲げたことは高く評価したい。

次に、平成24年度中に社会教育委員が設置されるということであるので、学校教育と社会教育の連携、融合により、地域・家庭・学校の関係が今まで以上に強化されることによって、青森市の教育全体が、生涯学習の振興も含めてより活性化すると期待している。そのためにも、教育委員と独任制の社会教育委員との青森市の教育全般に関する意見交換ができる懇談会的なものが設定されることを強く提案したい。

最後に、教育の3領域（知育・徳育・体育）に加えた「食育」への関心を低下させないためにも、「給食時間の延長」の検討とその結果に関心を持っていることを加えたい。

横 山 勉 （青森県小学校長会事務局長）

事務点検評価の会議に参加させていただき3年目となりましたが、今年は「目標指数に対する事業等の取組状況」と「昨年度の点検評価における委員からの指摘事項等に対する取組状況」について教育委員会事務局でまとめた資料を中心に、話し合い、検討がなされました。後者の資料については、昨年度焦点化された課題について、その解決に向けた取組や今後の方向性が明記され、より具体的な内容が見えやすく整理され、今後もこの形を継続していただきたいと思います。一方、前者については、これまでの反省も踏まえ、項目が整理されてはいるのですが、まだ工夫の余地がありそうだし、内容的には基準値、目標値及び実績値の考え方や関連と言う点で依然として疑問点も残りました。

いずれにしても、教育委員会が様々な形で頑張っていることは、今回も十分感じましたし、今後とも各学校や市民から信頼され愛着のある行政機関として、青森市の教育の益々の充実・発展に寄与していただければと願っています。

また、国や県の委託事業はもとより各事業の推進に当たっては、市民の声やニーズを取り入れることは勿論ですが、青森市教育委員会及び担当課の独自性なりリーダーシップを十分に発揮し、本市ならではの特色ある事業の充実をも目指していただければと感じました。

6.まとめ

今年度も地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に基づき、「教育委員会の責任体制の明確化」を図るため、教育委員会事務局が実施する青森市の学校教育や社会教育等に関する事務の管理及び執行状況について、教育委員会自らが、学識経験者の幅広い見地からの貴重なご意見をいただきながら、「点検及び評価」を実施した。

今年度は、青森市新総合計画の前期基本計画第4章「歴史と文化を受け継ぎ 未来を創造する人を育むまち」の政策目標達成に向け、目標に貢献する56の事務事業を取りあげた。評価手法としては、「目標指標に対する事業等の取組状況と各課の自己評価資料」について、事務局でまとめたものを参考に、数回の話し合いや議論を活発に行い、市民の関心が非常に高い教育・文化等に対して、真摯な事業への取り組みをもって積極的に応えていく決意と、透明性を確保しながら説明責任を十分に果たすことを意識しながら、可能な限り目標達成に向けた具体的な改善策の提案に意を用い、この「点検及び評価」に取り組んだ。

各政策についていただいた評価と意見を参考に、主なものに対して、以下の方向で対応して参りたい。

- ・「学校教育の充実」については、各事業が着実に成果をあげつつあることから概ね高い評価である。施策の「教育活動の推進」では、「学習状況調査」など、目標値に対して着実な成果をあげているが、さらなる向上を図るために学校独自の「アクションプラン」を作成するなど、具体的な行動計画が必要だと考える。また、「就学指導・支援の充実」に関しては、年間を通じた就学指導の実施等、個に応じた適切な指導が充実したことから、教育の理念であるきめ細かな教育活動をさらに積極的に推進していく。

- ・「社会教育・生涯学習の推進」については、図書館等の関係事業が着実に成果をあげつつあることから、取組の充実が評価できる。ただ、社会教育事業の見直し、学校教育と社会教育の連携、生涯学習推進委員会からの提言書にある意見・提案を踏まえた事業プログラム等の開発・充実が必要である。幸いに今後、社会教育委員制度が復活することから、生涯学習の振興も含めて社会教育の充実・活性化が図られていくよう推進していく。

- ・「文化・芸術の推進」については、概ね良好な評価である。特にキッズコンサートなど新規の「アートで音楽のあるまちづくり構想」は好評である。また、文化財の保存や活用、伝承、伝統文化の保存・継承など費用対効果だけでは図れない価値があることから、支援を含め長く継続して取り組んでいくことが求められる。今後とも、小牧野遺跡を始めとして、事業の理念・目的を明確に打ち出し、市民への浸透・理解を十分に図りながら着実に事業を推進していく。

- ・「スポーツ・レクリエーションの推進」については、広く多くの市民がスポーツ・レクリエーションに参加することが望まれるが、市民プールの閉鎖などにより参加状況があまり芳しくない。特にウインタースポーツに顕著である。今後その要因を探るとともに、引き続き多くの市民が気軽にスポーツ活動を行う機会の充実に努めていく。

また、今年度は、PDCAサイクルの観点から、昨年度実施した「平成23年度（平成22年度の事務事業を対象）の事務点検評価」での指摘事項についても、その取組状況等を確認しつつ、今後の方向性についても提案した。

学識経験者よりいただいた御意見を含め、本点検評価結果を基に、各施策における事業の意義・目的を十分に踏まえながら、改善、工夫のための不断の努力を心がけて参りたい。

また、来年度秋に策定を予定している「青森市教育振興基本計画」にも連動させていきたい。